

平成23年第13回教育委員会定例会日程

日 時 平成23年11月29日(火)
午後3時30分

場 所 北栄町役場大栄庁舎 第2・3会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の指名

3 行政報告

教育長

教育総務課長

生涯学習課長

4 議 事

議案第74号 区域外就学について

議案第75号 区域外就学について

議案第76号 校区外就学について

議案第77号 北栄町教育行政評価委員の委嘱について

5 協議事項

・平成24年度全国学力・学習状況調査について

6 報 告

・中学校保健体育「武道」の取り扱いについて

・平成23年度後期北栄町立幼稚園・小・中学校同日公開参観日の
まとめについて 資料1

・平成23年12月北栄町議会定例会の日程等について . . . 資料3

・町内小・中学校PTAからの陳情及び要望について . . . 資料2

・学校支援ボランティア事業について 資料4

7 その他

・次回教育委員会

定例会 12月22日(木) 午後1時30分から

8 閉 会

11月行政報告

(11月29日 教育委員会)

1 教育委員会の開催について

10月27日 第12回教育委員会定例会を開催しました。議事は以下のとおりです。議案の教育委員長選挙では、吉田助三郎(由良宿5区)現教育委員長が再任され、委員長職務代理者は河本恒夫(北尾)現職務代理者が再指定されました。任期は1年です。その他の議案は、原案どおり承認されました。

○議事

- ・教育委員会事務局職員の人事(出向)について
- ・北栄町教育委員会委員長の選挙について
- ・北栄町教育委員会委員長職務代理者の指定について
- ・準要保護児童生徒の認定について(2件)
- ・区域外就学(2件)・校区外就学(1件)について
- ・町指定有形文化財の解除について

2 学校行事について

学校行事が次のとおり予定されています。

- ・幼稚園発表会 12月17日(土)9時30分～ ※中央公民館講堂

11月行政報告

＝生涯学習課＝

1 人権同和教育小地域懇談会の実施結果について

9月5日（月）～11月15日（土）にかけて、人権同和教育小地域懇談会を町内63自治会で実施しました。町民一人ひとりが学ぶことをきっかけに、「思いやり、支え合いの心」を育み人権意識の高揚を高めました。

期間中の総参加人数は、1,037人（自治会世帯参加率21.2%）でした。

2 北栄町図書館まつりについて

11月3日（木）～13日（日）の間、図書館並びに図書館北条分室において北栄町図書館まつりが開催されました。期間中は、立正大学名誉教授の清水多吉氏による「福本和夫を識る」など、4講座のほか読み聞かせ、ブラックシアター、親子工作教室、ブックリサイクルなど多彩な催しが行われました。期間中の入館者数は2,254人でした。

3 第7回北栄美術展について

11月3日（木）～15日（火）の間、北条農村環境改善センターにおいて第7回北栄美術展を開催しました。日本画・洋画・書道など9部門に102点の出展がありました。期間中の入場者数は、656人でした。【審査結果別添】

4 子育て学習講座の開催について

(1)10月28日、由良保育所において「幼児期に育てておきたい人権意識」と題し、前田寿光先生（鳥取県人権保育連絡会）による講座を開催しました。参加者は保護者53名でした。

(2)11月8日、大誠保育所において「読書で繋がる親子の絆～絵本が育む心と世界～」と題し、伊藤善則先（NPO法人キラリ理事）による講座を開催しました。参加者は保護者58名でした。

(3)11月9日、北条みどり保育園において「心のふれあう 子どもとの関わり方」と題し、藤井仁志先生（県立船上山少年自然の家所長）による講座を開催しました。参加者は保護者56名でした。

(4)11月15日、中央保育所において「子どもの心身は“足”と“歯”がつくる」と題し、西田直美先生（倉吉幼稚園 延長）による講座を開催しました。参加者は保護者55名でした。

5 第2回社会教育委員会兼公民館運営審議会について

11月16日（水）、中央公民館大栄分館において、第2回社会教育委員会・公民館運営審議会を開催しました。平成23年度の社会教育事業の中間報告を行い、委員の皆さんの意見を頂きました。出席委員は全員出席の10名でした。

6 第6回北栄町駅伝競走大会について

11月20日(日)、役場北条庁舎をスタートし大栄庁舎をゴールとする15,8K、全9区間で参加26チームがタスキリレーを繰り広げました。

《成績》

- ◎自治会の部 優勝 大谷 準優勝 緑が丘団地 3位 大島
◎一般の部 優勝 鳥取中央育英 準優勝 園芸試験場 3位 六尾

7 北栄てくてくウォーキングについて

11月20日、レークサイド大栄管理事務所前を発着とした、北栄てくてくウォーキング「西高尾ダム四季薫るコース」を開催しました。参加者は42名でした。次回は12月4日、今年最終回となる「巨大風車と砂丘畑コース」を予定しています。

8 平成23年度北栄町大栄地区・北条地区女子バレーボール大会について

11月27日(日)、大栄地区と北条地区女子バレーボール大会を開催しました。大栄地区は、大栄中学校、大栄体育館、大栄小学校を会場に男女34チームが参加しました。一方、北条地区は5チームが参加し熱戦を繰り広げました。

《成績》

大栄地区バレーボール大会

- (A級男子) 優勝 由良宿2区 準優勝 由良宿3区 3位 緑が丘団地、西園A
(A級女子) 優勝 大谷 準優勝 東園 3位 下種、上種

北条地区女子バレーボール大会

- 優勝 北尾 準優勝 土下 3位 北条島

9 12月の行事予定について

- ◎12月4日(日)：北栄てくてくウォーキング「巨大風車と砂丘畑コース」
◎12月5日(月)：第63回人権週間にかかる町内事業所訪問
◎12月10日(土)～12日(月)：第4回北栄町部落解放文化祭
◎12月11日(日)：第2回北栄町バドミントン大会

10 工事等の発注について

次のとおり工事等を発注しました。

入札日	工事名等	内容	指名 業者数	入札回数	予定価格	期間等
				落札業者	落札価格	
11/18	大栄野球場大栄 中学校高圧改修 工事	受電設備 統合工事	7社	1回	2,972,550	H23・11・24
				(株)吉備総 合電設	2,541,000	～ H24・1・16

第7回北栄町美術展 美術展賞・奨励賞

【部門別入賞者】

(敬称略)

部 門	賞	題 名	氏 名	自 治 会
日 本 画	美術展賞	ふる ^{きと} 里の、湖 ^{こすい} 水 ^{しゆ} 秋 ^{あき} 景 ^{けい} 画 ^ず	日 ^ひ 置 ^{おき} 悦 ^{えつどう} 堂 ^{えつこ} (悦子)	北条島
	奨励賞	悠 ^{ゆう} 悠 ^{ゆう} 閑 ^{かん} 閑 ^{かん}	涌 ^{わく} 嶋 ^{しま} 百 ^{ひやく} 游 ^{ゆう} (積 ^{つむる})	北条島
洋 画	美術展賞	参 ^{さん} 道 ^{どう}	箕 ^{みの} 浦 ^{うら} 正 ^{ただし}	倉吉市
		初 ^{しよ} 夏 ^か	米 ^{よねはら} 原 ^{ふみえ} 文 ^{ふみえ} 惠 ^え	妻波
	奨励賞	ひ ま わ り	嶋 ^{しま} 正 ^{まさてる} 輝 ^{てる}	江北浜
		赤 ^{あか} い 酒 ^{しゆ} 瓶 ^{びん}	増 ^{ますだ} 田 ^{たい} 冷 ^{れい} 子 ^こ	松神
書 道	美術展賞	西 ^{せい} 塞 ^{さい} 山 ^{さん}	小 ^こ 林 ^{やし} 晴 ^{せい} 苑 ^{えん} (晴 ^{はる} 枝 ^え)	由良宿1区
	奨励賞	送 ^{そう} 人 ^{じん} 帰 ^き 山 ^{さん}	樋 ^{ひぐち} 口 ^{かえん} 華 ^{かねこ} 衍 ^{えん} (周 ^{しう} 子 ^こ)	松神
彫 刻	奨励賞	仏 ^{ぶつぞう} 像 ^{ぞう} 馬 ^{ばとう} 頭 ^{とう} 観 ^{かんのん} 音 ^{いん} 座 ^ざ 像 ^{ぞう}	幸 ^{こう} 孝 ^{こう} (松 ^{まつ} 本 ^{もと} 幸 ^{ゆき} 孝 ^{たか})	江北
版 画	美術展賞	姉 ^{あね} 妹 ^{いもうと}	田 ^{たくま} 熊 ^{くま} 誠 ^{まこと}	米里
写 真	美術展賞	花 ^{はなび} 火 ^ひ の 合 ^{がっしやう} 唱 ^{てい}	朝 ^{あさくら} 倉 ^{くら} 雅 ^{まさ} 仁 ^{ひと}	倉吉市
	奨励賞	ヒップホップ・ダンス (本 ^{ほん} 番 ^{ばん} 前 ^{まえ})	松 ^{まつ} 井 ^い 収 ^{おさむ}	倉吉市
工 芸	美術展賞	花 ^か び ん	河 ^{かわ} 本 ^{もと} 豊 ^{とよ} 子 ^こ	大谷
		柄 ^{がら} 付 ^{つき} 花 ^か 瓶 ^{びん}	野 ^の 嶋 ^{じま} 幸 ^{さち} 榮 ^え	国坂
	奨励賞	銘 ^{めい} 名 ^な 皿 ^{さら}	石 ^{いしが} 賀 ^が 明 ^{あけみ} 美 ^み	曲
		花 ^か び ん	吉 ^{よしだ} 田 ^た 和 ^{かずこ} 子 ^こ	土下
ちぎり絵	奨励賞	山 ^{やますそ} 裾 ^{すそ} の か や ぶ き の 民 ^{みん} 家 ^か	谷 ^{たに} 本 ^{もと} 満 ^{ますこ} 壽 ^す 子 ^こ	西新田場
切り絵	奨励賞	蔓 ^{まん} 珠 ^{じゆ} 沙 ^{しゃ} 華 ^げ	手 ^{てしま} 嶋 ^{じま} 仁 ^{ひと} 美 ^み	由良宿3区

議案第 7 4 号

区域外就学について

から児童の区域外就学に係る申し立てがなされたので、北栄町立小学校及び中学校の校区に関する規則第 5 条により委員会の承認を求める。

平成 2 3 年 1 1 月 2 9 日提出

北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

記

- 1 区域外就学申立児童名
- 2 保護者
- 3 区域外就学申立学校名
- 4 指定学校名
- 5 区域外就学期間
- 6 理 由

議案第 75 号

区域外就学について

から生徒の区域外就学に係る申し立てがなされたので、北栄町立小学校及び中学校の校区に関する規則第 5 条により委員会の承認を求める。

平成 23 年 11 月 29 日提出

北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

記

- 1 区域外就学申立生徒名
- 2 保護者
- 3 区域外就学申立学校名
- 4 指定学校名
- 5 区域外就学期間
- 6 理 由

議案第 76 号

校区外就学について

から生徒の校区外就学に係る申し立てがなされたので、北栄町立
小学校及び中学校の校区に関する規則第 5 条により委員会の承認を求める。

平成 23 年 11 月 29 日提出

北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

記

- 1 校区外就学申立生徒名
- 2 保護者
- 3 校区外就学申立学校名
- 4 指定学校名
- 5 校区外就学期間
- 6 理 由

議案第 77 号

北栄町教育行政評価委員の委嘱について

委員の辞職に伴い次の者を北栄町教育行政評価委員に委嘱したいので、北栄町教育行政評価委員会設置要綱第 3 条第 2 項の規定により委員会の同意を求め
る。

平成 23 年 11 月 29 日提出

北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

記

北栄町教育行政評価委員に委嘱する者

住 所	北栄町下種 500 番地
氏 名	竹信 啓子
任 期	平成 23 年 11 月 30 日から平成 24 年 3 月 31 日まで (前委員の残任期間)

新中学校学習指導要領における武道の「柔道」「剣道」の自由選択制について

主な意見

●教育委員会協議 10/27 定例教育委員会 PM1:30-4:45

- ・ 武道に触れる機会がないので、両方に触れさせることも良いのではとも思う。
※ 指導要領には3年間同種目を続けることが望ましいとの記載
- ・ 選択制とするのであれば、1年時に選択させて、3年間を通して同じものとするのが良いのではないかと思う。(実施するなら、6年時点で予備調査)
- ・ 学校が選択し決めるものなのであれば、学校が選択したものでよいと考える。
- ・ 学校の意見を十分聞いてほしい

●両中学校長・体育教諭との協議 10/28 PM1:30-3:10

- ・ 教育課程は学校が作成するもので、学校としては、内部で十分協議した上で、スムーズな移行が出来る「柔道」を選択したもの。(備品・指導者・時間割)

参考 ※現在の授業状況

	北条中学校	大塚 北条中学校
	体育教師2名(真山・朝倉)	体育教師2名(斉木教頭・片上)
1年	3クラス(1組・2組・3組) ・1組は単独で男女別 2人で ・2・3組は合同で男女別に授業 2人で	2クラス(1組・2組) 1・2組合同で男女別に授業 2人
2年	2クラス(1組・2組) 1・2組合同で男女別に授業 2人	2クラス(1組・2組) 1・2組合同で男女別に授業 2人
3年	3クラス(1組・2組・3組) ・1組は単独で男女別 2人で ・2・3組は合同で男女別に授業 2人で	2クラス(1組・2組) 1・2組合同で男女別に授業 2人

内容の取扱い

カ 「F 武道」の(1)の運動については、アからウまでの中から一を選択して履修できるようにすること。なお、地域や学校の実態に応じて、なぎなたなどのその他の武道についても履修させることができること。また、武道場などの確保が難しい場合は指導方法を工夫して行うとともに、学習段階や個人差を踏まえ、段階的な指導を行うなど安全の確保に十分留意すること。

- 1 武道の領域は、従前、第1学年においては、武道又はダンスから男女とも1領域を選択して履修できるようにすることとしていたことを改め、第1学年及び第2学年においては、すべての生徒に履修させることとした。また、第3学年においては、球技及び武道のまどまりの中から1領域以上を選択して履修できるようにすることとしている。

したがって、指導計画を作成するに当たっては、3年間の見通しをもって決めることが必要である。

- 2 武道の運動種目は、柔道、剣道又は相撲のうちから1種目を選択して履修できるようにすることとしている。

なお、地域や学校の実態に応じて、なぎなたなどのその他の武道についても履修させることができることとしているが、なぎなたなどを取り上げる場合は、基本動作や基本となる技を身に付けさせるとともに、形を取り入れるなどの工夫をし、効果的、継続的な学習ができるようにすることが大切である。

また、原則として、その他の武道は、示された各運動種目に加えて履修させることとし、地域や学校の特別の事情がある場合には、替えて履修させることもできることとする。

- 3 武道場などの確保が難しい場合は、他の施設で実施することとなるが、その際は、安全上の配慮を十分に行い、基本動作や基本となる技の習得を中心として指導を行うなど指導方法を工夫することとしている。

また、武道は、相手と直接的に攻防するという運動の特性や、中学校で初めて経験する運動種目であることなどから、各学年ともその種目の習熟を図ることができるよう適切な授業時数を配当し、効果的、継続的な学習ができるようにすることが必要である。また、武道は、段階的な指導を必要とするため、特定の種目を3年間履修できるようにすることが望ましいが、生徒の状況によっては各学年で異なった種目を取り上げることもできるようにする。

平成23年第9回北栄町議会定例会会期日程

北栄町議会事務局

会期	月 日	曜	審 議 内 容
1	12月12日	月	本会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・陳情の付託 ・議案の説明（条例、補正予算）
2	12月13日	火	常任委員会審査、調査（午前9時から） <ul style="list-style-type: none"> ・総務常任委員会：第1委員会室 ・産業建設常任委員会：北条庁舎第1会議室 ・教育民生常任委員会：第2委員会室
3	12月14日	水	休会（予備日）
4	12月15日	木	本会議 <ul style="list-style-type: none"> ・一般質問
5	12月16日	金	本会議 <ul style="list-style-type: none"> ・議案の審議（条例、補正予算の質疑のみ） ・陳情の採決
6	12月17日	土	休会
7	12月18日	日	休会
8	12月19日	月	休会（予備日）
9	12月20日	火	本会議 <ul style="list-style-type: none"> ・議案の採決（条例、補正予算の討論、採決） ・議会提出議案の審議、採決 ・閉会中継続審査・調査申出等の採決

※ 開議時刻…各日とも午前9時

町長	副町長	課長	参事	課長補佐	係長	回	議	主査



発北議第98号
平成23年11月28日

北栄町長 松本昭夫 様

北栄町議会議長 青亀 恵 一



一般質問について（通知）

平成23年12月12日招集予定の本町議会定例会において、別紙の質問が
される予定ですので、あらかじめ通知いたします。

平成23年第9回北栄町議会定例会
一般質問 質問事項一覧

	質問者	質問事項	質問の相手
1	12番 宮本幸美議員	北栄砂丘地農業（遊休農地の取組）さらに高規格道路北条バイパス買収済み盛土部分の今後の計画は	町長
		北栄町まちづくりビジョンについて	町長
2	13番 石丸美嗣議員	体育施設の保守管理は現状で充分か	町長 教育委員長
		町内周回のバス運行を	町長
		保育所補助金廃止となった場合の対応は	町長
		生活相談員の業務を民生委員へ	町長
3	9番 池田捷昭議員	松本町長の政治姿勢を問う	町長
		格差社会について問う	町長
4	6番 山下昭夫議員	これからの北栄町農業とTPPについて	町長
		北栄町財政の危機と今後の指針について	町長
5	2番 飯田正征議員	地域公共交通の推進について	町長
		農産物等の販売戦略について	町長
6	3番 前田栄治議員	農林畜産の関係施設や商業施設、企業誘致について	町長
		町長の行政運営と副町長の成果について	町長
7	8番 浜本武代議員	まちづくりについて	町長
8	1番 奥田伸行議員	事業仕分けについて	町長
		北栄町が進むべき道とは	町長
		北栄まつりの実施について	町長
9	10番 長谷川昭二議員	第5期介護保険事業計画について	町長
		同和対策事業の見直しについて	町長
10	14番 阪本和俊議員	格差社会への対応について	町長
		北栄町のまちづくりについて	町長
		教育並びに人材育成について	町長 教育委員長
	計10人	計23問	

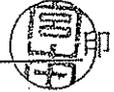
議長	局長	局長補	係長	回議	主査
					

受付番号 503 番
平成 23 年 11 月 17 日
午前 8 時 30 分 受領

平成 23 年 11 月 16 日

北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員 官本幸美



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
北栄砂丘地農業（遊休農地の取組）さらに高規格道路北条バイパス買収済み盛土部分の今後の計画は	<p>北栄砂丘地農業について、農業に関する質問は毎定例会でも問われていますが、今回は遊休農地対策について伺います。</p> <p>我が町は、スイカ、ぶどう、らっきょうなど多品目の農産物が栽培されていますが、高齢化や後継者不足等で遊休農地が増反しています。さらに、新年度にはタバコ栽培の減少で更に増えると思われま。対策について協議会が設立され検討されていますが、現在荒れ放題になっている農地（管理者不在、高齢で農業が出来ない、後継者もない）を今後どうすればいいでしょうか。</p> <p>点在しているこのような農地に生えている雑草などの種子が、隣接農地に大変な悪影響を及ぼしていると思われまますが、更に北条バイパス買収済み盛土部分の側面に生えている雑草に関しても同様で、今後の高規格道路の計画も含め、対策についてお尋ねいたします。</p>	町長
北栄町まちづくりビジョンについて	<p>北栄町まちづくりビジョンにおいて、今後 10 年程度の基本目標が今年一月に策定されました。まず、「町民と町が協働して町の発展を」とあり、「ゆたかなまちづくり 子どもがのびのびと育ち、だれもが生涯ゆたかに過ごせるまちを目指します」とあります。</p> <p>ピラミッドの頂点となる目標は出来ました。目標を持って進むことはとても大事なことで、町民からも広く行動やご意見を募ることも大切であると思ひますが、まず町長の目標に向けての取組をお知らせ下さい。</p>	町長

議長	局長	副議長	総長	回議	主査
					

受付番号 504 番
 平成 23 年 11 月 17 日
 午後 8 時 30 分 受領
 平成 23 年 11 月 17 日

北栄町議会議長 青亀 恵一 様

北栄町議会議員

石丸 美嗣 

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質 問 事 項		質問の相手
1. 体育施設の 保守管理は現状 で充分か	<p>9月定例会で町長並びに教育長に体育施設の管理は現状でいいのかとただしたところであるが、その後の対応方針を11月の行政報告会で報告された。内容を確認すると、北栄スポーツクラブと協議のうえ処理方法を検討し、10月14日に対応したとのことだった。その後は、中学校に管理移管するとなっているが、本当に維持・管理が出来るのか疑問である。</p> <p>11月初旬に現地を確認した時点では、コート上に3～4センチの水たまりができ、その後も数日間は排水されていなかった。</p> <p>中学生の部活に支障はないのか、ネットの取り扱いについて生徒に周知してあるのか、スポーツをする生徒には技術面の指導はもとより、礼節を重んじ指導することが大切であると考えているが、所見を伺う。</p>	町 長 教育委員長
2. 町内周回の バス運行を	<p>高齢者の割合がますます高くなっている現状の中で、町長は環境政策には積極的に事業を進めているが、高齢者の移動手段である路線バスの運行経費について、町の相応分を無条件で予算計上されている。また、バス代行のタクシーについても現状維持のまま運行されるのか。利用者の固定化になっていないか、利用者の年代、区間、利用者数など検証する必要があると考える。</p> <p>今後は町内を一巡するバスの運行を真剣に検討しなければならないと考えるが、所見を伺う。</p>	町 長

<p>3. 保育所補助金廃止となった場合の対応は、</p>	<p>保育所補助金廃止論が新聞に発表された。私立の保育所が存在する町にとっては重大な問題である。 税収入の少ないわが町では、今後どのような対応で乗り切るのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 生活相談員の業務を民生委員へ</p>	<p>生活相談員の業務を、民生委員に任せてはどうか。</p>	<p>町 長</p>

議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査
					

受付番号 505 番
 平成23年 11月18日
 午前 9時43分 受領

平成23年11月18日

北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員 池田捷昭 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
松本町長の政治姿勢を問う	<ul style="list-style-type: none"> ・合併協定書の検証について。 ・予算議決した案件を事業仕分け。別の目で検証し、次年度に生かすとのことであるが、予算提案が悪いのか議会の検討が不足するのではないか。大きな視点から捉えるなら事業仕分けも意義がある。 ・町長は、本町「まちづくりビジョン」施策実行が成長戦略とのこと。具体的な展望を町民に説明されたい。 ・9月議会で政策提言された全町公園化構想の現状での経緯を。 ・今後、町の人口推移、税収減・地方交付税の減額予想から町の行政規模は。 ・町の職員数と臨時職員のあり方について。 ・行革と職員の意識改革及び人事考課について。 	町長
格差社会について問う	<p>非課税世帯の増加傾向、町の所得者数1万2,418人中、200万円までの者が76,6%(控除等で変わる)の状況の中で、国では住民税・消費税の値上げが報道されている。</p> <p>一方、我が町では国民健康保険税、介護保険税の値上げが想定されている。町民が生活していくうえでの負担能力をどのように見られ、来年度どのような施策をお考えか。</p>	町長

議長	局長	副	係長	回議	主査
					

受付番号 506 番
 平成23年11月18日
 午後2時25分 受領

平成23年11月18日

北栄町議会議員 青亀恵一 様

北栄町議会議員 山下昭夫 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手												
これからの北栄町農業とTPPについて	<p>日本農業は、農地の集約で営農規模を拡大し、国際競争力を強化する構想であるが、米国やオーストラリアとは農地の規模が違いすぎて競争にならない。</p> <div data-bbox="438 907 1157 1355" data-label="Figure"> <p>農家1戸当たり平均農地面積(ha)</p> <table border="1"> <tr> <th>国/地域</th> <th>平均農地面積 (ha)</th> </tr> <tr> <td>日本(現在)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日本(5年後)</td> <td>20~30</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>米国</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>オーストラリア</td> <td>3068</td> </tr> </table> </div> <p>また、TPPに参加すると国内農業が壊滅し、現在40%の食料自給率が13%まで下がる。国内農産物の生産額が4兆5,000億円減少する。(農林水産省の試算)</p> <p>コメ市場を一部開放したウルグアイラウンド合意では98年度から6年間に6兆100億円(地方負担分を含む)の国内対策が実施されたが、農道などの土木事業やレクリエーション施設といった「ハコもの」に多くが投じられ、農業体質の抜本的強化につながらなかったとの批判がある。実際、関税ゼロをうたう環太平洋経済連携協定(TPP)に日本は交渉に参加すべきか否かで日本国中が大問題になっている。</p> <p>北栄町は農業の町であり、死活問題であると考え、町長の考えを伺いたい。</p>	国/地域	平均農地面積 (ha)	日本(現在)	2	日本(5年後)	20~30	EU	14	米国	187	オーストラリア	3068	町長
国/地域	平均農地面積 (ha)													
日本(現在)	2													
日本(5年後)	20~30													
EU	14													
米国	187													
オーストラリア	3068													

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>北栄町財政の危機と今後の指針について</p>	<p>北栄町の場合、財政規模に対する借金返済額の割合を示す実質公債費比率は21.6%、将来負担する可能性がある借金の割合を示す将来負担比率は156%である。県下の市町村で悪い方から2番目、また負担比率は下から3番目である。</p> <p>一方、国も東日本大震災から被災地が立ち直り、日本経済を立て直していくには、少なくとも5年間で20兆円近くが必要になると試算されている。こうした中、北栄町財政（平成22年度決算：地方交付税35億5,387万円 収入全体の41.7%）で交付税の占める割合は高い。</p> <p>今後、国は交付税の減額をしてくと予想されるが、町長の将来指針を伺いたい。</p>	<p>町長</p>

議長	局長	副	係長	回議	主査
					

受付番号 507 番
平成23年 11月 18日
午後 2 時 46分 受領

平成23年11月18日

北栄町議会議長 青 亀 恵 一 様

北栄町議会議員

飯 田 正 征 

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 地域公共交通の推進について	<p>急速に高齢化が進展している中、暮らしの基盤となる物資、サービス、ネットワークが地元で安定的に確保される地域社会の在り方がいま求められている。</p> <p>暮らしの基盤となる買い物にも困難な状況に置かれている地域や人々のために、地域公共交通の推進は不可欠です。</p> <p>公共交通は高齢者の安全安心な移動手段として重要な役割を果たすと考えますが、現在のわが町の状況は十分ではありません。</p> <p>高齢になっても運転免許証を返却できない、返却すればたちまち日常の買い物等に支障が出てしまう、視力や聴力、体力、断能力が衰えたり、身体的に十分でない場合でも運転しなければならないのが実情です。</p> <p>自動車を運転できない人、傷害のある人にとって頼れるのはバスですが、バス停までの距離は遠く、利用したくても利用できません。</p> <p>交通手段の利用が困難な状況が続くと、外出も控えるようになってきます。</p> <p>そして、外出が減れば、健康問題が発生し、医療や社会福祉の費用が増大するということとなります。</p> <p>自家用車がなくても暮らせる北栄町にすべきと考えますが町長の考えを伺います。</p> <p>3月定例議会において町長は、「利用者アンケート、一般町民アンケート調査等によりニーズを把握し、新たな公共交通形態を検討していきたい。維持のために地域交通に関わるあらゆる立場の人たちや新たな担い手と連携し、最適な公共交通の構築を目指す。現在バス路線を廃止したところを中心に運行しているが、意向調査を行い交通の不便なところ</p>	町長

<p>2. 農産物等の販売戦略について</p>	<p>も実施していくのか今後検討したい。」と答弁された。</p> <p>不便を感じている町民も多く、早急に対処すべきと考えるが町長の考えを伺います。</p> <p>本町の基幹産業である農業では、年々農産物の売上高が減少傾向にある中、国では TPP の交渉に参加した。</p> <p>今後の状況次第では大きな打撃を受ける危険性がある。</p> <p>農産物の地産地消の推進、ブランド化、販売力の強化、農家への助成や補助などが重要かつ必要であり、いかなる状況になろうとも生き残れる農業の基盤を作るべきだと考える。</p> <p>行政報告会では、農産物の作付面積、販売高、農産物の被害など農協が取りまとめたことをそのまま報告しているにすぎない。</p> <p>農業に対する支援金や補助金について予算が上がっているが、北栄町独自の農業振興政策や販売戦略が全くなく、農協と個人任せになっていると考えますが町長の考えを伺います。</p> <p>農協と行政が役割分担しながら、別々のルートで幅広く販売にかかわって売り上げを伸ばすべきだと考える。</p> <p>北栄町のホームページを活用し、インターネットで農産物の注文の受付、生産者や生産組合等に連絡し生産販売する。</p> <p>注文、受付業務の場を広げることで、町独自の農業の振興と、北栄町の農産物の販売高は増えると考えますが町長の考えを伺います。</p> <p>島根県の海士町では車の運転のできない高齢者が作っている農産物を、役場の職員がボランティアで集荷に行き道の駅に出している。</p> <p>これが農地を守りお年寄りの生きがいとなっている。</p> <p>このような取り組みについて、町長はどのように考えるか伺います。</p>	<p>町長</p>
-------------------------	---	-----------

議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査
					

受付番号 508 番
平成 23 年 11 月 21 日
午後 2 時 1 分 受領

平成 23 年 11 月 21 日

北栄町議会議長 青亀 恵一 様

北栄町議会議員 前田栄治



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
農林畜産の関係施設や商業施設、企業誘致について	<p>町長は、誘致関連の質問をするたびに、議会後、もう少し待てばいい話が有りそうだと期待を持たせる。その後は議会には経過の説明も報告も無い。昨年も、前企画課長が北条道の駅周辺への誘致話があるといい、期待をしていると報告もなく話が消えてしまっている。町長就任以来どのような誘致に成功したのか伺う。また現在何か話があれば、言える範囲で伺う。</p> <p>またまとまらないのは何が問題なのか。鳥取市は誘致戦略がすごいのか、トップの姿勢がいいのか新聞やニュースで誘致成功、何人雇用予定と良く観ます。いつも、農業振興地域から外れないとか農地法に触れてしまうとか道路事情、人材確保や不況などたくさん聞きますが、本当にそれだけの問題でしょうか。町長が決断できないから、企業側が進出した後のしっかりしたバックアップを疑い企業誘致への情熱を認めてくれないのではないのでしょうか。町長はどこが鳥取市と違い成功できないと考えておられるのか。</p> <p>北栄町は基幹産業が農業であると誰もが言います。それならば、工場等ではなく農林水産業関連の加工施設や畜産などの関係施設の誘致プランを考えた方が現実的ではないのでしょうか。所見を伺う。</p>	町長
町長の行政運営と副町長の成果について	<p>3月議会において、震災後の国や町を考え、町3役と議員は報酬カットしている。そこで町職員の年間約 11 億円の給料一部カットの質問をしました。組合に話さえもしないという残念な答弁でした。来年度は、国保税や介護保険料の値上げが避けて通れなくなってくる可能性も高いと思います。カット分をそこに少しでもまわせたらと考えるがどうか。</p> <p>来年度予算編成に向かう時期になります。2 年間副町長の仕事ぶりを見てきましたが、前副町長のように前</p>	町長

面に出て行財政改革や職員改革をしようとか税収アップや人口増加などの企画ある街づくりの姿が全く感じられない。町長が答弁につまっても耳打ちをするばかりで手助けする発言を議会中、全員協議会中、ほとんど聞いた事がない。発言をしない副町長の2年間の実績や町長による評価はどうか？

議長	局長	副議長	係長	回議	主査
					

受付番号 509 番
平成 23 年 11 月 21 日
午後 3 時 15 分 受領

平成 23 年 11 月 21 日

北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員 浜本 武代 

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
まちづくりについて	<p>地域医療振興会ヘルスプロモーション研究センター 岩永俊博医師の提唱される「健康づくりは町づくり」に取り組んではどうでしょうか。</p> <p>平成20年「健康なまち町民大会」を開催し、その後3カ年、自治会・健康推進員・食生活推進員が中心になって「健康づくり推進事業」が実施されています。</p> <p>また、管理職や議員等の研修、昨年と今年の2年間「ほくえい健康サポーター」の養成など様々な研修を積んできました。</p> <p>実施に向けてのハードルは高いと思いますが、受け身の事業から町民の皆さんとの協働事業へ転換することが大切と考えます。</p> <p>町長へお伺いいたします。</p>	町 長

議長	局長	副	係長	回議	主査
					

受付番号 510 番
平成 23 年 11 月 22 日
午後 2 時 35 分 受領

平成 23 年 11 月 22 日

北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員 奥田 伸行 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
事業仕分けについて	<p>今年も北栄町事業仕分けが行われました。昨年に続き、どの事業も町長が判断すべきものばかりであり、もはや、ただのパフォーマンスにしか見えません。今年の実業仕分けの所見と来年以降も続けていくのか。町長の所見を伺います。</p>	町長
北栄町が進むべき道とは	<p>今年1月、北栄町まちづくりビジョンが制定されました。しかし、良いテーマ、文章を並べただけのもののように感じます。それぞれの項目につき、目標を定めてありますが、今の厳しい時代を生き抜くためには、施策に優先順位を付けていくことが必要ではないでしょうか。最重点項目を何におかれているのでしょうか。今後人口減少に歯止めが利かない場合を考え、新たな合併も考えられるのか。ここで何とか踏ん張り、人口規模を維持し、北栄町を存続させるための施策を講じるのか。町長の所見を伺います。</p>	町長
北栄まつりの実施について	<p>現在、北栄町の夏祭りは北条砂丘まつりを実施していますが、お台場まつりを復活してみてもどうでしょうか。そもそも、合併したのだから夏まつりも一つになった経過があるのは重々承知しています。私が提案するのは、メイン会場を北条オートキャンプ場とお台場公園の隔年実施にしてはどうかというものです。夏祭りの賑わいをお台場周辺に広げることで、青</p>	町長

	<p>山剛昌ふるさと館や周辺施設の活性化にもつながると考えます。</p> <p>祭りの名称も、町民に公募して親しみのある祭りになるよう期待します。</p> <p>町長の所見を伺います。</p>	

議長	局長	副議長	係長	回議	主査
					

受付番号 511 番
 平成23年 11月 24日
 午前 11時 55分 受領

平成23年11月24日

北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員 長谷川昭二 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
第5期介護保険事業計画について	①2012～2014年度の基盤整備計画策定にあたり、政府が構想しているような、公費抑制のために「自助」「互助」に重心をおいた公的責任放棄ではなく、誰もが最後まで安心して住み続けられる町づくりを高齢者、住民総意の計画となるようどう取り組むのかについて ②県下でも高い介護保険料の軽減の取り組みについて	町長
同和対策事業の見直しについて	①同和対策事業の達成基準の明確化について ②同和対策事業を廃止し、その財源を介護保険や国税の負担軽減等真に必要な施策に充当することについて	町長

議長	局長	副議長	係長	回議	主査
					

受付番号 5/2 番
 平成 23 年 11 月 24 日
 午後 4 時 5 分 受領

平成 23 年 11 月 24 日

北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員 阪本和俊 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
格差社会への対応について	<p>町民の所得格差が年々拡大し、このことは全国的な傾向でもあり、大きな社会問題となっております。町民の生活実態や所得状況を検証しない今の行政執行は異常です。</p> <p>こうした問題をどのように捉え、解決しようとお考えか、今後の具体的な対策をお聞かせください。</p>	町長
北栄町のまちづくりについて	<p>町長は、これからのまちづくりを本気でお考えでしょうか。去る9月議会において「全町公園化」の政策提言を行いました。本来であれば、議会提案でありますから早急に検討に入るべきところですが、未だこれといった動きが感じられません。</p> <p>町長は自らのマニフェストや、まちづくりビジョンのなかでも企業誘致をうたっていますが、実現していません。そうであれば、北栄町独自の政策を実行する必要があると考えますが、町長の所見を伺います。</p>	町長
教育並びに人材育成について	<p>教育や人材育成は地域づくり・まちづくりの根幹をなすものと考えますが、今までの教育行政の運営状況で責任ある教育や行政執行ができたのか伺います。</p>	町長 教育委員長

平成23年度「地域で育む学校支援ボランティア事業」実施要項

小中学校課

1 趣旨

小・中学校の実態に応じて、地域住民等のボランティアを配置し、生活支援や学習支援、環境整備、安全パトロールなどの支援活動を行い、学校と地域が協働しながら、児童生徒へのきめ細やかな対応の充実や安全安心な学校生活を実現する。

2 実施主体

本事業の実施主体は市町村（学校組合）教育委員会とする。

3 補助対象事業

(1) ボランティアによる学校支援【小中学校 全学年】

- ◆ 下学年学習・生活支援ボランティア〔小学校1・2・3年〕【必須】
※学校支援地域本部事業との併用可
- ◆ 学校支援ボランティア
 - ・総合的な学習（体験学習）
 - ・読み聞かせ
 - ・学校行事支援
 - ・花壇整備、植木剪定
 - ・授業補助（家庭科・書道等）
 - ・クラブ活動支援
 - ・登下校見守り、あいさつ
- ◆ 放課後等支援ボランティア

(2) コーディネーターの配置 【全小中学校】【必須】

(3) ボランティア導入環境整備費

4 補助対象経費

(1) ボランティア活動費

小学校・・・小規模校：6万円	大規模校：9万円
中学校・・・小規模校：4万5千円	大規模校：6万円

(10回/年以上の活動者に対し5千円/人で積算)

※学校支援地域本部事業との併用の場合

(下学年学習・生活支援ボランティア)

小規模校：3万円	大規模校：4万5千円
----------	------------

(2) コーディネーター活動費

校種、規模にかかわらず9万円(1万円/月)

(3) ボランティア導入環境整備費(本年度のみ)

校種、規模にかかわらず7万円 ※学校支援地域本部事業との併用可※各予算は年額の上限

※学校規模	小規模：小学校12学級以下	中学校：9学級以下
	大規模：小学校13学級以上	中学校：10学級以上

(特別支援学級を除く学級数)

地域で育む学校支援ボランティア事業

6月補正予算

44,286 千円

目的・概要

小・中学校の実態に応じて、学校支援ボランティアを配置し、生活支援や学習支援、環境整備、安全パトロールなど、学校と地域が協働しながら、子どもたちへのきめ細かな指導や支援を推進

主な事業内容

I 学校支援ボランティア事業費補助金

市町村のボランティア配置等に要する経費を助成

- ① ボランティア活動費(交通費、給食費、保険料等)
- ② コーディネーター活動費(通信費、交通費、保険料等)
- ③ ボランティア活動導入環境整備費【初年度のみ】
(ボランティアルームの整備、ホワイトボードの設置等)

II コーディネーター連絡協議会(年2回)

事業の効果的な実施のため、コーディネーターによる意見交換、情報交換等を実施

III ボランティアハンドブック等の作成、配布 など

ボランティアの活動例

◎学習・生活支援(小1～3年生は必須)

授業の集中を促す声かけ、九九暗唱の聞き手、給食指導、授業(家庭科など)技術指導 など

◎環境整備等支援

植栽管理、施設小修繕 など

◎放課後等支援

放課後・夏休み中の学習支援、自然体験活動支援 など



低学年の学習支援を行う
ボランティア

平成23年度 後期 北栄町立幼稚園・小・中学校同日公開参観日のまとめ

1 参観者数

	保育所・園								学校						総合計	
	東	中央	北条みどり	大誠	栄	由良	大谷	合計	幼		小学校		中学校			合計
									北条	北条	大栄	北条	大栄			
H23 10月	26	49	42	59	19	28	18	241	48	397	295	80	66	886	1127	
H23 6月	22	49	40	57	21	42	16	247	47	357	223	129	74	830	1077	
H22 10月	27	37	47	62	27	35	18	253	34	387	322	77	89	909	1162	
H22 6月	15	42	35	41	13	36	24	206	41	323	314	54	42	774	980	

2 アンケート集計結果（幼稚園・小学校・中学校分）

(1) 回収数

実施月	H23年10月	H23年6月	H22年10月	H22年6月
回収数(人)	244	233	265	296

(2) アンケート項目について

【A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない】

アンケート項目	実施月	A%	B%	C%	D%
1 子どもたちがよくあいさつをし、明るく過ごしている。	H23.10	61	35	3	1
	H23.6	64	29	6	1
	H22.10	53	37	9	1
	H22.6	51	43	5	1
2 子どもたちは落ち着いた雰囲気（学校）生活を送っている。	H23.10	58	38	4	0
	H23.6	56	38	5	1
	H22.10	49	41	8	2
	H22.6	47	44	7	2
3 子どもたちは活動に集中したり、話をよく聞いたり、積極的に参加したりしている。	H23.10	59	37	3	1
	H23.6	56	38	5	1
	H22.10	55	37	6	2
	H22.6	55	36	8	1
4 教師は分かりやすい話や指導をしている。	H23.10	68	28	4	0
	H23.6	65	31	3	1
	H22.10	68	29	3	0
	H22.6	64	30	5	1

5 教職員のあいさつ、言葉遣いなどがよい。	H23.10	73	25	2	0
	H23.6	67	30	2	1
	H22.10	72	24	3	1
	H22.6	70	29	1	0
6 施設がきれいにされている。	H23.10	72	24	4	0
	H23.6	72	25	2	1
	H22.10	69	28	2	1
	H22.6	70	28	2	0

3 意見・感想 (○よい点 ●課題)

【子どもについて】

- 子どもたちがのびのびと幼稚園生活を送っていることがよくわかります。幼稚園生活からスムーズに学校生活に入っていくことができると思っています。(幼)
- 子どもたちの作った線路や汽車など、とても工夫しており、面白くびっくりしました。朝の会もずっと座ってとてもみんな落ちついていて感心しました。(幼)
- 子どもたちがいろいろ考えていて、協力しているのが感じられた。(幼)
- 汽車体験が次につながって生き生きと表現されているなど感じました。(幼)
- マラソン大会、音読集会、みんなよくがんばっていました。先生方のご指導のおかげです。ありがとうございました。(小)
- マラソン大会を見せてもらいました。とてもみんなががんばっていました。たくさん練習したんだろうなあと思いました。授業も前回の時より、みんなが先生の話をよく聞いていたように感じました。(小)
- マラソンを見ました。子どもたちが一生懸命に走っていて、見ていてうれしかったです。そして、感動しました。(小)
- マラソンを見学しました。走る子のがんばりはもちろん、待っている子どもたちの応援のすばらしかったこと、大変きまりよくびっくりしました。ありがとうございました。(小)
- 音読集会を見せていただきました。大きな声で発表し、リズム感もよく、とても聞きやすいものでした。マラソン大会もみんなががんばり、すごいなあと思いました。(小)
- 皆、大きな声で元気で、とてもよかったです。(小)
- ひまわり・わかば学級のクッキーお茶の担当の子どもたちが誘ってくれました。この日のためにクッキー作りの準備や接客の練習にがんばってきたことが伝わってきました。(小)
- 作文の学習に、子どもたちは私語ひとつすることなく集中して取り組んでおり、本当にすごいと感心しました。(小)
- 国語の時間は子ども達が生き生きと楽しそうに学習していた。良いところをほめて伸ばすよい授業をされていたと思いました。(小)
- 子ども達はしっかりとした言葉を使ってとてもいい詩を作っているなど感心しました。(小)
- アミーゴフェスティバルは、上級生が下級生をリードしながらやっていて素晴らし

い！(小)

- アミーゴフェスティバルはみんながきまりよく参加していたのが印象的でした。呼び込みをし、積極的な子どももいました。上級生はしっかりしていますね。(小)
- 中央育英高校生による読み聞かせは3クラスさまざまな取り組みで、児童も自分の中に取り込んで学んでいた。(小)
- 張り切って発表する子がありよかったです。元気がありました。2年生は汽車の乗り方を劇でやっていてわかりやすくよかったです。(小)
- 初めてアミーゴフェスティバルを見ました。みんなが楽しそうにしている姿がとてもいいと思いました。(小)
- アミーゴフェスティバル、拝見いたしました。異学年がゲームや遊びを通して協力したり、考えたりする姿を見て、とてもよい取り組みだと思いました。(小)
- 5・6年生が中心となって、低学年の子ども達の面倒をよく見てくれているところに子ども達の成長を感じました。4年生もすごく頑張っていました。(小)
- 1年生の授業を見ました。休み時間から授業への切り替えがスムーズで授業中も静かに落ち着いて受けていて良かったです。3年生まで、この様子が続いて欲しいです。
(中)
- 静かに授業ができていたので安心しました。(中)
- 少し意欲にかける雰囲気はあったが、落ち着いて授業を受けていたので安心しました。
(中)
- 我が子の数学の授業と体育の授業を参観しました。皆が集中して授業に取り組み、補佐の先生もおられ、生徒一人一人に声をかけてサポートして見ていただいているので、私語もあまり見られませんでした。また、次の授業にもだだらすることなく移動をし、自分たちでランニングをしたり、準備運動も出来ていて感心しました。(中)
- 生徒は、挨拶を浴してくれました。(中)
- 一部に行儀の悪い子どもがいた。(小)
- 音読集会のことです。上学年の後ろのほうの3人が騒いでいました。でも、先生は注意もされず、終始騒いでいて気になりました。お手本のはずの上級生、しっかりしてほしいです。(小)
- 1・2年生は、子ども達を引っ張っていくのが難しい年齢で、先生方も大変だと思いますが、楽しく勉強できるよう気長に見守っていただきたいと思います。(小)
- アミーゴフェスティバルは楽しそうでしたが、少しきまりが悪かったようです。6年生がもっとしっかりしていた方がよい。(小)
- 机に向かって字を書く姿勢がよくないと感じました。(小)
- 生徒がよく手を上げ発言していました。6月ころに比べると声も大きく、みんな積極的でした。が、もう少し落ち着いた気持ちで話が聞けるともっともっと良くなるかなと感じました。(小)
- 全体的にあいさつが少なかったのもっとしてほしい。(小)
- アミーゴフェスティバルの参観は初めてで、子ども達のチームワーク、6年生が下級生の面倒を見ている姿が見られて楽しかったです。(小)
- 授業開始から15分くらい私語が多かった。もう少し、時間の大切さがほしい。(中)

【教職員について】

- 汽車に乗る体験は忘れられない思い出になるでしょう。よい取り組みをされていると感じました。
- 給食トラックが園児が遊んでいるときに入ってきました。先生がすぐに声をかけてくださり気を配っておられました。子ども自身も自分で見る・車をよけるなど家庭でも一緒に気をつけたいです。(幼)
- 広範囲に目を届かせていただいている様子がよくわかります。(幼)
- 楽しく学校生活を送っているようで、安心しました。授業に大変工夫が見られ、自分たちの時代にはなかった授業風景だと感心しました。(小)
- 1～2限を見学しましたが、面白くて私もつつい勉強してしまいました。反比例のグラフ、私の頃はフリーハンドでかきましたが、今は、点をプロットするだけとのこと。今は、統計・マーケティング主流ですが、グラフが読める子に育てていただけそうです!!歴史は、情報量が多く、整理され、おもしろい比較あり、クイズあり!!ついつい引き込まれました。すごくおもしろく教えていただいているのですね。ありがとうございます。毎日の楽しい様子が伝わってきました。(小)
- 先生方の元気が子ども達に好影響を及ぼしています。(小)
- 先生方は丁寧な言葉遣いをされていて感心しました。子ども達への敬語教育をしてほしいものです。(小)
- 3クラスとも同じ授業をしているが、あまりに長い説明に子ども達がたいくつしてきて集中力がなくなっていた。(小)
- 英語の授業にいきました。身近な人のことで会話を取り入れた楽しい授業だなと感心しました。リスニングからの文法勉強はいいなあと感じました。(中)
- 授業に対して、緊張感を持って受けている子、自分のペースで受けている子があつた。自分のペースで受けている子への手立てがもう少しあってもいいかと思う。(小)
- どの子も自信を持って発表できる場、雰囲気や設けられたら、子どもの表情がさらによくなると思う。(小)
- 次の準備をする間の目安(印)など、視覚的な支援がもっとあってもよいのではないか。いつまでにとという見通しが持ちにくい。(中学校でも、他の小学校でも活用中)(小)

【環境面について】

- 展示してあるものを通して、保育が生き生きと見えて今までの様子がよくわかりました。(幼)
- サンテリオンさんとの交流の写真を見て交流がよくなされていると感じた。(幼)
- 新校舎になってから、初めて足を踏み入れました。トイレののれんがそれぞれの絵や色でゆれていて、明るい感じでした。校舎の腰板が木でできていてよいと思いました。(小)
- 学校文化度が高いですね。すばらしい教育環境。(中)
- 渡り廊下の新聞コーナーはとてもよい考えだと思います。とてもよい空間です。(中)
- 2F渡り廊下に中央紙(新聞)があり、とてもよかった。地方紙とは違った物事の捉え方に気がつくと思う。(中)
- 渡り廊下の明るい新聞を読む空間がすごくいいと思いました。果たして、生徒は利

用しているのでしょうか？(中)

【その他】

- 1～6年を参観し、子どもの成長がよくわかりました。(小)
- 今日はおばあさんの出番。天気もよし。3人の孫が頑張っている姿を見て安心しました。作品も飾ってあり、ゆっくり見せていただきました。(小)
- 一斉メールで、いろいろ情報を発信してもらえてよいです。(小)
- クラスや学年を対象とした授業参観よりもこの公開参観がいいですね。(小)
- 祖父母の給食会があれば、学校給食でどのような味付けで食べているのか知りたいと思います。(小)
- 授業の内容、クラス配置図を示してほしい。(中)
- どのクラスが何の授業をしているか、小学校を見習ってください。(中)
- 生徒のスリッパはちょっとどうか？危険。活発さにかけてと思いますが・・・(中)

4 アンケート結果を活かした取組み等

【あいさつの徹底】

- あいさつ指導の推進 (中)
 - ・教職員が、保護者が、まず生徒にあいさつをしていく取組みの推進
 - ・生徒会活動の活性化

【学習規律の徹底】

- 児童の机に向かって書く時の姿勢、話の聞き方(落ち着いて聞く)、子どもの言葉づかい(敬語の使い方)を意識して指導・実践する(小)
- 「3 子どもたちが話をよく聞いたり、学習などに積極的に参加したりしている。」にDの記載があった。企画委員会でこのことについて協議し、学年や学級で「授業に対する取組みはどうか」生徒に投げかけ授業の取組みについて再度確認を行った。(中)

【活動・授業の向上】

- 友達同士が関わる活動を意図的に取り入れ、遊びこめる保育を充実させ、一人一人が自信を持って活動に取り組めるように努めたい。(幼)
- 汽車遠足後の感動体験が、協同的な遊びへと広がっている。この遊びを継続させ、友達と関わり合いながら言語の表出を豊かにし、自分の気持ちを調節する力や規範意識の芽生えを培っていきたい。(幼)
- マラソン大会を授業公開に位置づけたことで、保護者や地域の方の熱心な声援があり、いつも以上に児童もはりきって力を発揮していた。児童相互の応援態度も以前より高まり、きまりもよい傾向になってきている。日頃の指導の成果であると思われるので、今後も継続して力を伸ばしていきたい。(小)
- 音読集会では、「話すこと・聞くこと」の観点を中核に、日頃の国語の学習の成果を発表し合い、発表の声の力強さとともに、発表内容に言語活動の充実が感じられた。(小) 創意工夫を重ねていき、教師の指導力のより一層の向上につなげたい。(小)

- 特別支援教育の視点での教育活動、教育実践を今後も意識して取り組む必要がある。特に、視覚支援を要する児童に有効であるだけでなく、全ての児童に有効な手立てとなることを全職員で再度確認していきたい。(小)
- 授業に集中できない児童に対しては、日頃から適切な指示や支援ができるよう具体的な方策を確認しておきたい。参観者があるうがなかろうが、毅然とした態度で指導していく姿勢を示していくことを職員全員で共通理解・共通実践できるようにしたい。併せて、何よりも子どもにとって楽しい学習となるよう、さらに工夫改善が必要。(小)
- 高学年としてのリーダー性や自覚の育成(小さい学年からの積み重ねを大切にしながら)(小)
- 授業改善に向けた取り組み (中)
 - ・小中連携授業研究会、校内授業研究会、校内研究職員会等での研究・研修機会の充実
 - ・小中連携の一層の推進(生徒・児童の実態を基にした連携)
 - ・町外での研修機会への積極的参加
- 掃除指導の推進 (中)
 - ・生徒と職員とで行う清掃活動の一層の推進
 - ・美化点検カードを生かした委員会活動の推進

【環境整備】

- 校舎内外の掲示や整理・整頓、花の栽培など、環境面での充実を合言葉に取り組んできた成果が評価されている。今後も継続して取り組みたい。(小)
- 子どもの学びの様子が分かる掲示をする。(小)
- NIE の活動を10月より開始したが、多くの方より良い評価をいただいた。今後さらに活動を充実していきたい。(中)

教育長	主 査	課 長	係 長	回 議	主 席

資料No. 2

平成23年10月25日

北 栄 町 長 松 本 昭 夫 } 様
 北栄町議会議員 池 田 捷 昭 }
 ○北 栄 町 教 育 委 員 会

北栄町立北条小学校PTA
 会 長 北 川 昌 信



教育環境・施設・設備の充実にに関する要望書

貴職には、平素より北条小学校の教育振興につきまして、格別な御高配を賜り、心から感謝申し上げます。また、本町単独33人学級の設置、低学年における30人学級及び学校司書、学校主事、教育補佐員の継続をしていただき感謝申し上げます。

さて、昨今の国及び各地方自治体の行財政は年毎に厳しさを増しており、並々ならぬ御苦勞があるかと存じます。しかし、21世紀を心豊かにたくましく生きていく子ども達を育成していくためには、ソフト及びハード両面で常に時代の要請に即した学校教育環境の整備充実が必要であると考えています。

つきましては、下記の事項について、特段の御配慮を賜り、早期に実現できますよう本PTAの総意をもちまして切にお願い申し上げます。

記

【要望事項】

1 30人学級(低学年)、33人学級(中・高学年)の継続

この基準による学級編成で、学習内容や学習規律・基本的生活習慣の定着など、個に応じたきめ細かな指導ができるとともに、担任と保護者との連携も綿密となり、教育効果が高まって来ていますので、来年度以降も継続をお願いします。

2 学校司書、学校主事、教育補佐員の配置継続

学習に図書館を活用する上で、学校司書の役割は大変重要です。司書がいる図書館であってこそ学習効果が大きいと思います。

教員が子ども達の指導に集中することができるのは、校内の多岐にわたる仕事を学校主事の方にしていただいているからです。

また、個々の目標に合った特別支援教育を進めるために、教育補佐員を配置していただき、その効果は確実に高まっています。来年度の特別支援学級児童数は、増加が見込まれることから2名の教育補佐員をお願いします。

3 学校備品等に対する十分な予算確保

本年度、来年度と子どもたちの豊かな心を育てることを目的に道徳に重点を置いて取り組まれております。学校備品等の教育環境整備は、その道徳教育を支え、さらにこれからの本校教育推進にとって重要なことでもありますので、十分な予算確保をお願いします。

4 バス通学に係る統一基準の設定と適切な対応について

児童のバス通学については例年お願いをしているところでありますが、大栄小学校と北条小学校ではバス通学区域の基準が違っているようです。バス通学に係る基準を統一していただき、児童が安心・安全にバス通学ができるようお願いします。



教育長	副	管	課	長	係	長	回	議	主	査

平成23年11月7日

北栄町教育委員会

教育長 岩垣 博士 様

北栄町由良宿213番地

北栄町立大栄小学校

PTA会長 青山 哲



大栄小学校通学路の危険箇所および学習環境等の改善について(要望)

晩秋の候、貴職におかれましては、ご多用の毎日をお過ごしのことと拝察いたします。関係各位の絶大なるご理解とご協力により、本校PTA活動も順調に進んでいるところであります。誠にありがとうございます。

さて、子どもたちの健康安全や一人ひとりを大切にする学習環境の改善・充実について、下記の点につきまして何卒一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

要望事項

【学習環境などの改善】

- ①平成24年度1, 2年生の30人学級と3年生以上の33人学級の適用の継続
- ②平成24年度 町負担の教職員の配置(学校主事補佐員・特別支援教育補佐員(2名)・学校司書補佐員・ICT教育活動支援員の継続配置) (一部差し) 1名減
- ③家庭科室の調理台更新 L削減
- ④正面玄関から大校門までのバス通路と校庭周辺の樹木の枝落とし
- ⑤教室の学習計画記入黑板と後ろの黑板の塗り替え
- ⑥第1・第2理科室にエアコン設置
- ⑦体育館ステージ壁面の塗り替え(全面を白に近く)
- ⑧非常階段のサビ落としと塗り替え
- ⑨体育館雨どいと排水管の修理
- ⑩バックネットのサビ落としと固定

【通学路等の危険箇所の改善】

- ①由良2区の旧鳥取SK跡地の処分
- ②東園地区の通学路の道幅が狭く危険

総務課から産業振興課へ送付済

【通学路等の除雪作業】

- ①通学路の速やかな除雪作業

実施
要
求
(一部差し)

加工更新
シム、奉仕
対応
要
求
(124)

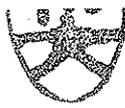
実施しない
必要
要
求
(124)

要
求
(124)

要
求
(124)

生涯学習課
対応





平成23年11月22日

北栄町教育委員会 様

発行	発行	発行	発行	発行	発行

東伯郡北栄町由良宿 340
 北栄町立大栄中学校 PTA
 会 長 長谷川勝矢
 東伯郡北栄町土下 100-1
 北栄町立北条中学校 PTA
 会 長 松本 晴樹



教育環境・施設・設備の充実に関する陳情書

秋冷の候、貴台におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より大栄中学校及び北条中学校の教育振興につきまして、格別なご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

本年度においても、厳しい財政状況の中、補助員・支援員の配置等を継続していただきありがとうございます。子ども達に、きめ細やかな指導ができ、大変喜んでおります。

さて、昨今の国および各地方自治体の行政は、年毎に厳しさを増しており、並々ならぬご苦労があるかと存じます。しかしながら、社会の急速な変化の中で、家庭・地域・学校が連携しながら教育を進めていく必要性がさらに高まっています。21世紀を心豊かにたくましく生きていく子ども達を育成していくためには、ソフト・ハードの両面で常に時代の要請に即した学校教育環境の整備充実が必要であると考えています。

つきましては、次の事項について、特段のご配慮を賜りますように、両 PTA の総意をもちまして切にお願い申し上げます。

記

1 33人学級の継続・拡大をお願いします。

学習規律や学習内容・基本的生活習慣の定着など個に配慮したきめ細やかな指導や、担任と保護者との連携を密接にし、教育効果を高めるために、今後も全学年において33人学級措置を受けることができれば、子ども達に寄り添ったきめ細やかな指導ができます。

厳しい経済状況下ではありますが、是非、来年度以降も33人学級をお願いします。

2 学校司書、学校主事、教員補助員（特別支援教育補佐員）ICT教育活動支援員の継続をお願いします。

現在、学校における図書館教育の充実が叫ばれています。読書をするだけでなく、学習に生かす図書館教育を充実していきたいと考えています。司書がいる図書館であってこそ効果が大いと感じています。是非、配置の継続をお願いします。

学校主事の仕事は、多岐にわたっています。教員が子どもたちの指導に集中することができるのは、学校主事の方がおられてこそです。是非、配置の継続をお願いします。

今年度も個々の目標にあった教育を進めるために教員補助員（特別支援教育補佐員）を配置していただいております。効果をあげています。今後も、特別支援教育充実のために是非、配置の継続をお願いします。

今年度もICT教育活動支援員の配置していただいております。各校のコンピュータを利用した学習活動はもとより、校務へのコンピュータ活用の推進・各校のホームページの充実など効果をあげています。今後もICT教育充実のため是非、配置の継続をお願いします。

上記4名の配置を継続していただきますようよろしくお願いいたします。

3 通学路の安全確保をお願いします。

大栄中学校PTA、北条中学校PTAでは、生徒の安全確保のために通学路の点検をしています。街灯等が不備で、危険な箇所がありますので改善していただきますようお願いいたします。（別紙資料参照）

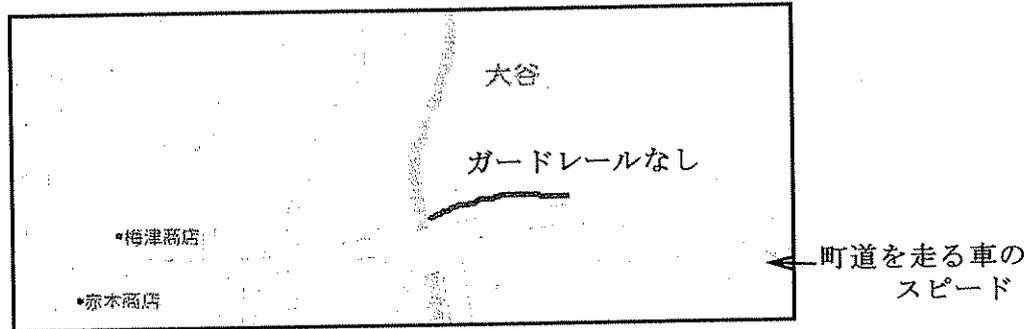


通学路における危険箇所の点検・報告

大栄中学校 PTA 生活指導部
2011年6月～7月 実施

①大谷部落内

- ・大谷には側溝にふたがなく、特に雪が降った時など危険である。
- ・朝など町道をスピードを上げて走る車があり、特に福山さん宅前のカーブが危ない。
- ・旧9号線からの入り口に、通学路の看板を立てて欲しい。カーブの所に、スピードを落とすガタガタなど対策を考えていただきたい。
- ・梅津酒屋さんから東、田んぼが低くなっていて危ないため、ガードレールの設置を要望します。

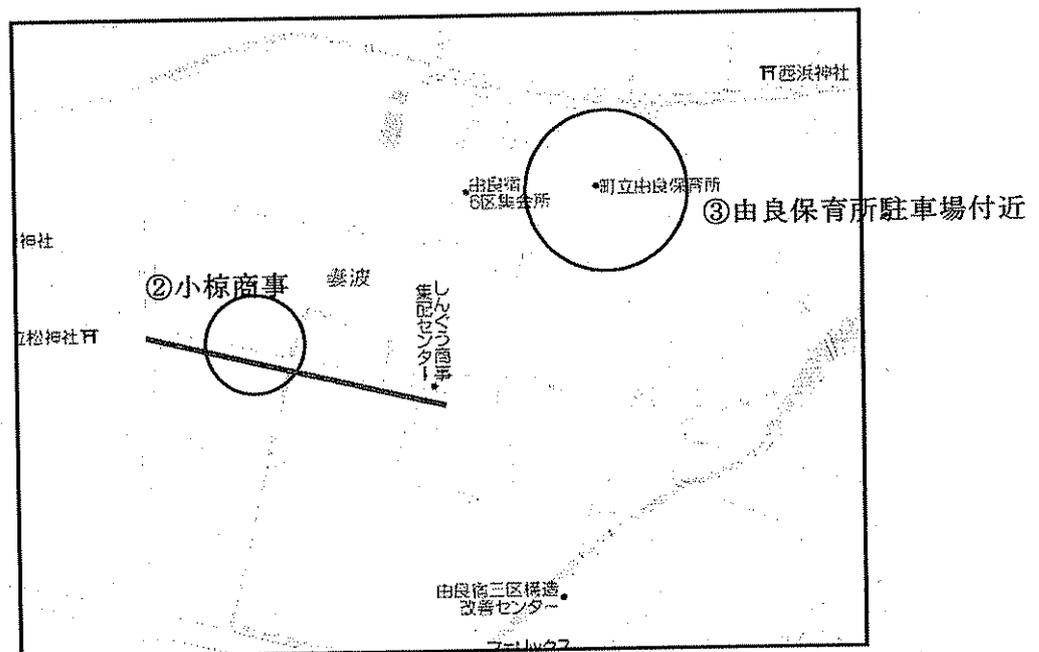


②由良宿 小椋商事

- ・できるだけ登校時間に大型車の出入りを止めていただくよう、再度要請をお願いします。また粉塵等が体、目に悪影響があり心配である。
- ・登下校中、大型トラックが道路に出入りして道をふさぐことがあり危険なことがある。急いでいる時（登下校中）には困ることがある。

③由良保育所駐車場付近

保育所への送迎の車の出入りが多い場所で、特に保育所と民家の間の曲がり角が見通しが悪く狭いため危険だと思いました。生徒には自転車のスピードを落とすように指導した方がいいと思いました。



④合銀前交差点

- ・やはり信号がないため、生徒がわたれず待っている時間が長く焦って渡る子もいて危険。車もなかなか止まる様子がない（ドライバーの方が止まってくださるときは、中学生の保護者が多かった。）

⑤由良駅周辺

- ・駅側から車が見えにくいのでミラーを大きく数を増やして欲しい

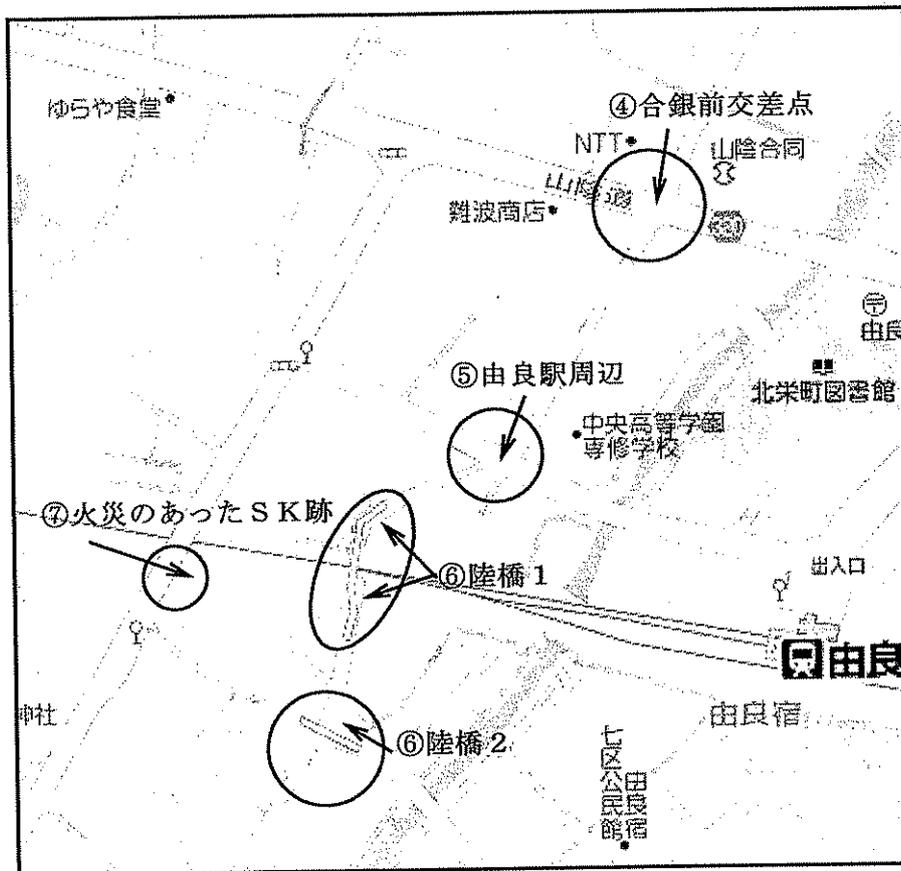
⑥陸橋 1

- ・雪が降ったら歩道橋が滑ってあぶない。
- ・自転車を降りて押していく時、雨が降ったりしている時など滑って危ない。

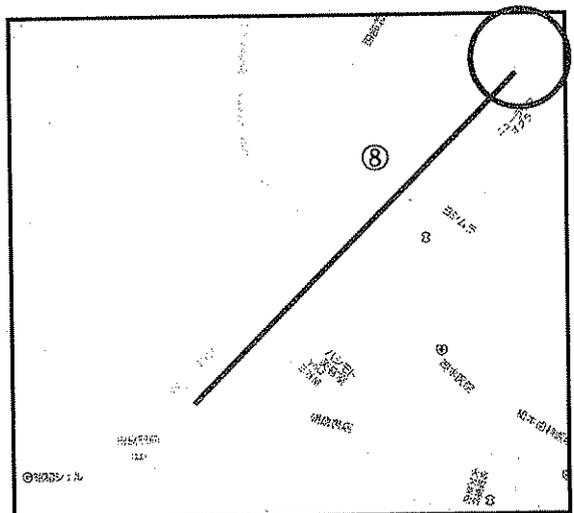
陸橋 2

- ・送迎の車が一時停止をしないことが多いので、目立つ標識を設置してはどうでしょうか？

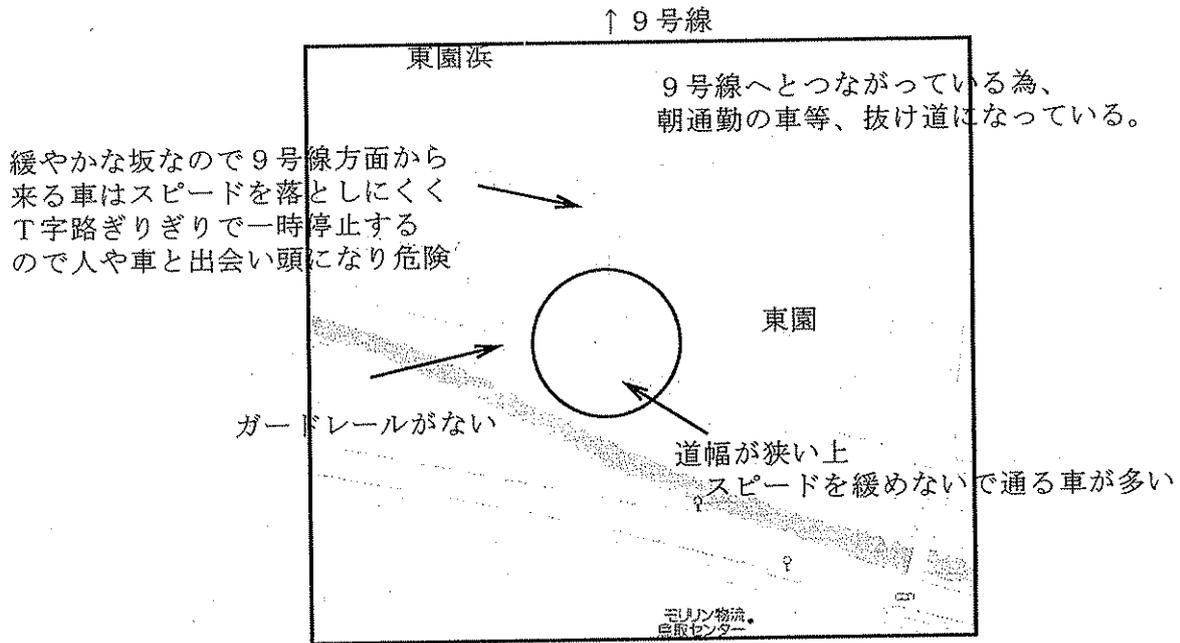
⑦火災のあったSK跡



- ⑧由良1区：町中（吉村建材さん前 他）
歩道等もなく、車の通行が多い。
交差点も見えづらい。（小椋電気店前）



⑨東園浜 : 東園浜と東園境のT字路



⑩松浦縫製付近のカーブ坂

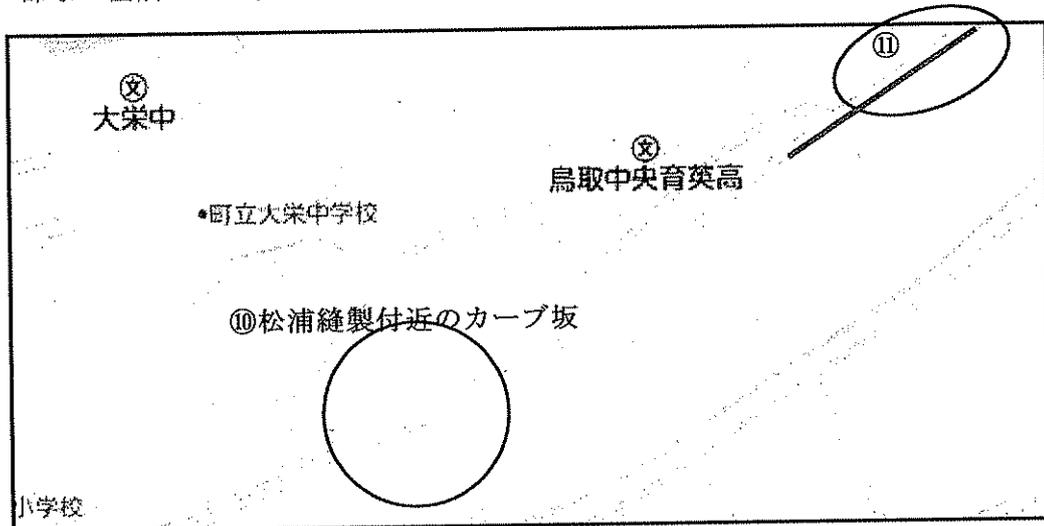
- ・下校時の下り坂が急にもかかわらずカーブもわりとキツイので、雨のときなど道路が濡れているときは大変危険。過去にも瀬戸の生徒がケガをしている。(数名、中には骨折も) 坂の角度とカーブがゆるやかにならないものか・・・。

⑪育英高校のテニスコートと野球場の間の道路

- ・街灯がないようなので付けてもらいたい
- ・田んぼ脇の草が伸びていると、子どもたちが見えず、運転中にドキッとしたことがある。危ないので草刈りをお願いします。
- ・雨量が多くなるとすぐ水がたまり通学路として困難になります。その時は別の道を通学路にできるよう考えて子どもたちに伝えてやって下さい。

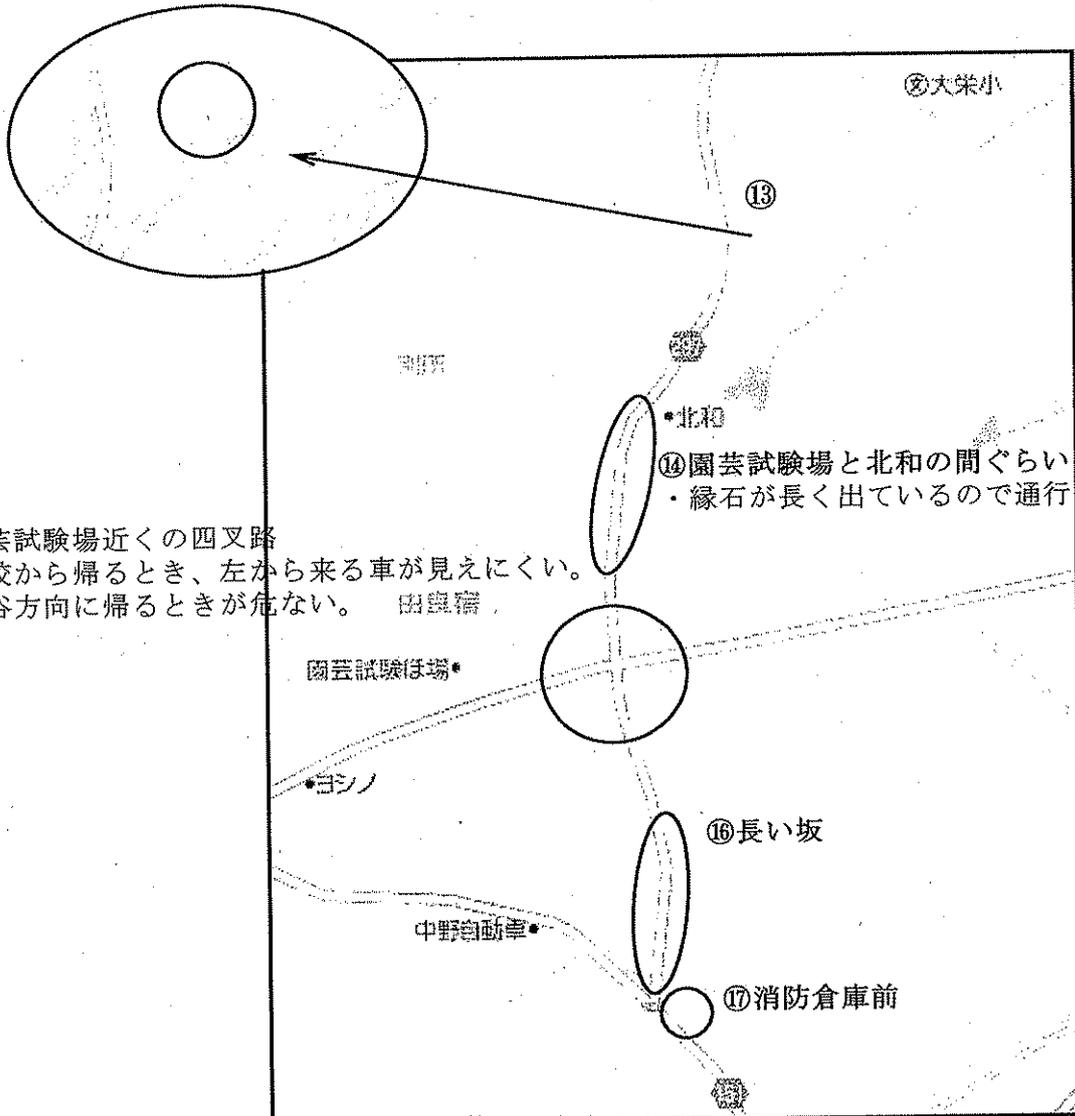
⑫由良川沿いの瀬戸～六尾～六尾北～中央育英野球グラウンド～松浦縫製前

- ・歩道が一部ない箇所がある。



⑬二子塚の近く

- ・左, 右から来る車が見えにくい。
- ・要望としては、4カ所に”止まれ”をかいて欲しい



⑭園芸試験場近くの四叉路

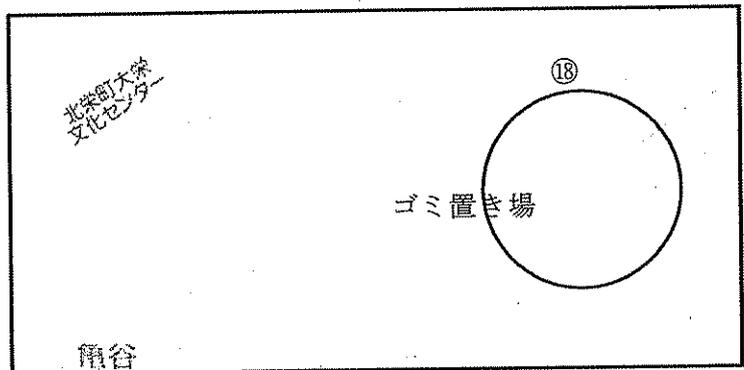
- ・学校から帰るとき、左から来る車が見えにくい。
- ・亀谷方向に帰るときが危ない。 田舎宿

- ⑭園芸試験場と北和の間ぐらいの歩道
- ・縁石が長く出ているので通行しにくい。

- ⑬亀谷の消防倉庫の前：鉄板の上が雨が降るとよく滑って危ない。

⑮文化センター近くの町営住宅のゴミ置き場の所の三叉路

- ・右から来る車が見えない。



⑯大島の通学路

- ・両側の雑草が伸びすぎて道幅を狭くしているし、視界が悪く危ない。
- ・街灯が少なく、人通りが少ない。通学路のため、明るい昼間でも（特に女子に限らず）心配を感じる。

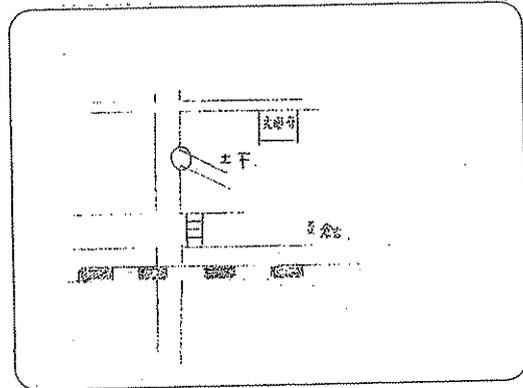
⑰西高尾の通学路

- ・亀谷から西高尾方面へ向かう通学路、夏場は良いが街灯が少なく暗くて心配

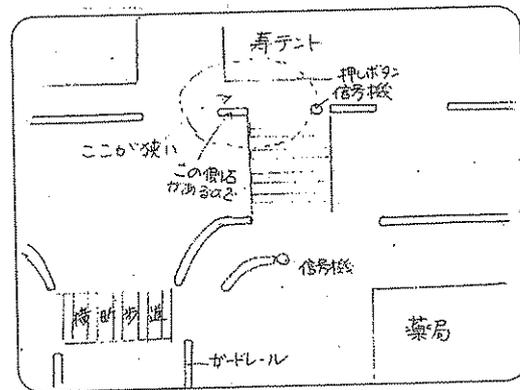
北条中学校通学路危険箇所について

平成22年12月 PTA生活指導部実施

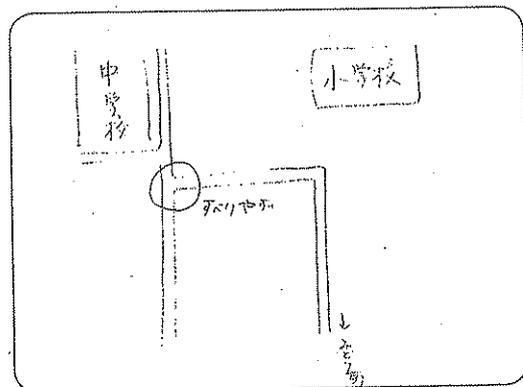
- 1 土下の押しボタン信号を渡って15mくらい先の右側から合流する道があり、そこから出てくる車が見えにくく、ミラーを付けていただきたい。



- 2 寿テント前の歩道が狭くて自転車が混み合うと危険であるため、歩道を広くしていただきたい。また、寿テント前の歩道に側石があるため直角に曲がる必要があるため、側石をなくしていただきたい。



- 3 凍結時、小学校の校庭の前を通って中学校へ曲がるときに滑りやすいので、何か対策できることがあればお願いしたい。

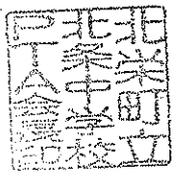


			主査
			

平成23年11月22日

北栄町教育委員会 様

北栄町立北条中学校PTA
会長 松本 晴樹



施設・設備の改善に関する要望書

貴台おかれましては、平素より北条中学校の教育振興につきましましては、格別なご高配を賜り、心から感謝申し上げます。併せまして、より一層教育環境の充実が図られることをお願いしたいと存じます。

先日、PTA運営委員会におきまして協議いたしましたところ、下記の事項について改善していただきたく、ここに要望書を提出し早期に実現できますよう本PTAの総意をもちましてお願い申し上げます。

記

1 体育館ステージ雨漏り補修

○9月に鳥取県は台風等の影響を受け、暴風雨に遭いました。その際に校舎の雨漏りが何カ所かありましたが、教育委員会に迅速に対応していただき感謝しているところです。

ただ、体育館ステージの雨漏りが残っており、暴風雨でなければ雨漏りしないということもありますが、可能な限り早く補修をお願いしたいと存じます。

2 調理室窓に網戸設置

○調理室の窓に網戸がなく、季節によっては虫が入ってきて不衛生であったり、調理実習の時期をずらしたりしなければならず、生徒の授業に影響がでています。そこで、調理室窓に網戸設置をお願いしたいと存じます。

3 教室棟屋上出入り口扉修理

○地震による津波発生時の生徒等の避難場所の一つとして、屋上は重要な役割を果たすことになると考えられます。現在、屋上出入り口扉が破損していますので修理あるいは交換をお願いしたいと存じます。

4 教育委員会生涯学習課主管の校外指導の見直し

○子どもたちの校外指導、特に登校指導のため、生涯学習課主管の校外指導の依頼が、PTA生活指導部を中心に行われております。しかし、本校では毎月1日、15日を基本に各部落PTAで通学路に立ち登校指導に取り組んでおります。生涯学習課から依頼される登校指導は、中学生があまり通らない時間帯や場所であり、また勤務の都合上厳しい時間帯でもあるため、PTA生活指導部が行っている登校指導でかえることができないか検討をお願いしたいと存じます。



教育長	副教育長	委員	委員	委員	主査

平成23年11月22日

北栄町教育委員会 様

北栄町立大栄中学校 P T A
会 長 長谷川 勝矢



施設・設備の改善に関する要望書

秋冷の候、貴殿におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より大栄中学校の教育振興につきまして格別なご高配を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年度要望いたしました教室棟の遮光カーテン及び体育館の暗幕の取替設置や校舎（教室棟、管理棟）及び体育館の雨漏修理につきまして早速実施をしていただき、深く感謝申し上げます。今後ともより一層、本校教育環境の充実が図られますよう、よろしくお願い致します。

つきましては、PTAによる施設点検を実施したところ、下記の事項につきまして改修・改善をしていただきたく、ここに要望書を提出し早期に実現できますよう本PTAの総意を持ちましてお願い申し上げます。

記

- 1 各教室背面黒板の塗装をしてほしい。
 - ・年数が経ち傷んでいる。既に書いてある線が利用しにくい。
- 2 25mプールの設置及びプール更衣室・機械室等の改修をしてほしい。
 - ・50mプールでは維持管理費（水道代・薬品代）がかかる。
 - ・更衣室が狭く、男女の更衣ができていない。
 - ・機械室の壁に破損がある。
- 3 部室棟の全面改修をしてほしい。
- 4 各階の手洗い場が古くて汚いので、改修してほしい。



後期計画訪問 記録

訪問先	北条幼稚園	日時	平成23年11月11日(金) 10:00~12:00
訪問者 (8人)	吉田委員長、斉尾委員、磯江委員、岩垣教育長、 中部教育局 岡本指導主事、長田指導主事 田中課長、岩田		
園長	<p><幼稚園経営、取り組みの成果・経過について> P.2</p> <p><子育ての支援について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別な支援の必要な子どもの保護者へ ・ 親になりきれない親 ・ 規範意識の低い親 <p>新しい幼保一体化施設では、小さいときから支えていくことができる。</p> <p><24年度の体制について>…P.1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育長 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導面は、教育委員会がかかわる。 ・ 研修体制…教育センターを使うなど検討していく。 ・ 研修に出かける→予算化する。 ・ 1対1の加配はおかしい。担任がクラスの子ども全員を見る。 		
大黒 園長 補佐	<p><教育課程・研究推進・人権同和教育について>…P.3~6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりが自信を持ち伸びるために、どのような環境を構成していけばよいか。 ・ 協同の学び…子どもとともに作り上げてきた。 ・ 一緒にすると楽しい、一緒にするとこんなものができたという気持ちを大事にしたい。 ・ 人権・同和教育 ぼかぼか交流…日常的なかかわりが持っている。来年度につなげたい。 常に職員が人権感覚を磨く。小地域懇談会は、よい学習の機械<small>（会）</small>になっている。 普段の生活で、友達の良いところを見つける。(ハートの木) 		
懇 談 会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育長：汽車遠足を意図的に組み入れ、造形活動にまで子どもの意識が繋がっている。 ○ 磯江委員：文字を読む場面を始めてみた。大きな声を出すようになり、よい取り組みだと思う。 ○ 吉田委員長：最初の場面で子どもの眩きがあったが、同じ子どもだった。言わせる仕掛けが必要。眩きを広い、仲間を広げる。そのために教師の立ち位置も大事。 ○ 吉田委員長：協同性というが個人が多かった。どのように協同に向かわせるか。 ○ 澤村教諭：自分のやっていることを伝え合う場面を作っている。 その中で「次は、もっと〇〇したい。」という言葉があり、主体的に取り組む姿を喜んでいる。 ○ 教育長：今日のような活動は、活動の場が広がる。それぞれがどのような役割を 		

持つのか、打ち合わせが重要である。

- 荒尾教諭：新採研が受けられて、とても勉強になる。

小学校との連携も進んでいる。春に1年生の学習の様子を見ることで、先を見通し、5歳でつきたい力を考えることができた。

<長田指導主事の話>

- 子どもの思いから活動が組み立てられていた。
- 子どもも作っているものに対して思いがあるので、語るができる。それを受け止め聞いていくことも必要だと思った。
- 一緒に作っている中で、教えあったり、けんかをしたりいろいろなかかわりが見られた。
- ITC の効果的な活用について
音楽を入れる。文字の大きさ、分かち書き。写真の大きさ。
- 汽車を見つけた子どもの眩きをひろって言わせたが、「どこどこ？」と前で見つけたものを示させると、もっとみんなで共有でき、ほかの子どももたくさん見つけるようになる。

<岡本指導主事の話>

- 子どもの主体的な活動が展開されていた。「もっと〇〇したい」を大切に。
- 子どもの思いから活動を組み立てる、自己決定を大切にしたい。
- 応答的なかわりがなされていて、よかった。

後期 計画訪問 記録

訪問先	大栄小学校	日時	平成23年11月11日(金) 13:20~16:40
訪問者 (7)	吉田委員長、斉尾委員、磯江委員、岩垣教育長、 中部教育局 長田指導主事 田中課長、岩田		
校長	<p><本年度の学校経営>取り組みの成果・経過など (別紙P.3~8)</p> <p>1 学ぶ意欲と学力の定着・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3極化…よくできる、少し手を加えたらできる、個別の支援が必要 ・2年生は、学年で少人数指導を行い、数人の取り出しも行っている。 ・教師が話しすぎ→ペア学習やグループ学習を取り入れている。→全体としても話し合えるようにしていきたい。 <p>2 豊かな心を育む教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会をやり遂げた自信を日々につなげたい。 ・さまざまな課題やトラブルを学級のみんなで話し合っ、解決していく。 一人の問題は、自分にもかかわりがあると捉えられる子に。友達のことに関心を寄せることができる子に。 <p>3 健康でたくましい体作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会に向けて、全校児童が朝走った。行事に向けてのモチベーションを普段にもつなげたい。 ・芝生ができたこと、教師のかかわりや意欲付けによって鉄棒にさわる子が増えた。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の重みを背負ってきている子を救うことも、学校の大切な役割になってきている。 ○ 不登校は、0。大きな事故や、問題行動もない。 ○ 朝の挨拶の声が大きい。 ○ 同日公開参観日に、たくさんの方の出かけていただき、よい評価もいただいた。 		
質疑	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育長：(同日公開参観日のアンケート結果)「職員の挨拶がよくなった」のには、何か仕掛けがあるか。「なぜそうなったか」を考えることが大事である。 ○ 福井校長：朝の挨拶をしているとき、総務委員会の子どもが、「先生の挨拶が、小さいです」などと声をかけることがある。 ○ 阪本教頭：前期同日公開参観日アンケート結果を示したので、職員が意識して取り組んだのかもしれない。 ○ 福井校長：学校の教育活動に対する手ごたえから、職員の心にゆとりが生まれたかもしれない。 ○ 吉田委員長：同日公開参観日であっても、大栄小のように子どもからの案内の手紙があると出かけやすい。今後も続けてほしい。 ○ 教育長：「祖父母の給食会があれば」という要望がある。応えてあげてほしい。 ○ 磯江委員：北条小学校には、「なごみの里」の方が出かける。子どもたちに触れ学校に出かけることをとても喜ばれた。大栄小でも取り組んでほしい。 		

	<p>○ 吉田委員長：学習発表会に向けて、どのくらい練習をするか。</p> <p>○ 大平：総合、生活、国語などの教科の中で1ヶ月前くらいから少しずつ取り組み、最後の仕上げは、1週間くらい行う。</p>
大平 教務 主任	<p>別紙のとおり (P9)</p> <p>1 教育課程編成の異本方針</p> <p>2 教育課程の完全実施に向けた取り組み</p> <p>3 本年度の重点的な取り組み</p> <p>* 児童の学ぶ意欲・学力の向上</p>
河本 研究 主任	<p>別紙のとおり (P10~15)</p> <p>1 本年度の重点的な取り組みと進捗状況</p> <p>2 Q-Uの活用状況について</p> <p>* 「研究推進便り」を発行し、共通理解・共通実践を図っている。</p>
質 疑	<p>○ 吉田委員長：飯島先生の研究会のときに北条からも参加者があったか。</p> <p>○ 教育長：研究推進便りを出す→反応→練る→これを実践しよう というように共通理解・共通実践に向けて取り組んでほしい。</p> <p>吉田委員長：学年・学級に任せてしまうことが多いと、徹底しないことがある。</p> <p>磯江委員：Q-Uの活用状況が示されたが、その後どう変わったか、具体的に知らせてほしい。</p>
全 職 員 と の 懇 談 会	<p><学力向上の現状と課題および課題解決のための具体的取り組み></p> <p>1年：集中が持続するように、興味関心を持って取り組めるように、ITC機器を活用したり、1時間の流れを示し見通しが持てるようにしたりしている。</p> <p>フラッシュカードを使い、定着を図るようにしている。</p> <p>チャレンジタイムは、月・水・金は国語、火・木は算数。2学期には定着できて時間になったら自分たちで始められるようになった。</p> <p>2年：個人差が大きい。「かけ算」の単元で少人数習熟度別の指導を行っている。</p> <p>学年だよりなどで保護者の理解を得ながら、子どもの希望とレディネステストの結果を元に3つのコースに分けた。</p> <p>チャレンジタイムに国語算数の基礎基本を 学習規律の定着 考え、比べて発表できる。</p> <p>話型を参考にしながら理由をつけて息の長い発表をさせたい。</p> <p>3年：学習集団作り 学習のルール作りを。</p> <p>「ここまでは、わかりましたか？」と区切って話す。</p> <p>理由をつけて、長い発言ができるように。</p> <p>子ども同士の係わり合いを持てるように、ペア学習やグループ学習も取り入れ</p>

ている。

4年：家庭学習は、定着している。

学力の差が大きい。限られた子に発表が集中しがち。話す地から聞く力が不十分。という実態から次のことを大事にしている。

授業の目当てを明確に。

ペアトーク、討論会を取り入れる。

(例) ペアトークを朝の会に取り入れ、話しやすい雰囲気作りをする。

聞く力を高めるために、全校朝会の後「校長先生の話」を問う。

5年：学力差が大きいため、1クラス2Tのチームティーチングや1クラスを2つに分けた少人数指導を行っている。来年も、今の指導ができる人的配置をお願いしたい。

生活を見つめ、よりよいものにすることが、学力アップにつながると考えている。クラス活動や児童会活動の充実を。

言語活動の充実…ペア学習・グループ学習を。

チャレンジタイム…自作の音読集を使って、読むことも大切にしたい。

6年：①言語活動の充実

シナリオ学習。ペア学習やグループ学習。鉛筆トーク。など。

②学習の振り返りを大事に。

③既習の学びをつなぐ

つなげたい内容は、掲示する。

④視覚に訴える教材。

1クラスに1台あるといい。

⑤学力の土台

自分で活動を作り出す。自分で決定する。

わかくさ・しおかぜ

「生活に生きて働く力」を…学校生活・交流学級で・地域で役立つ力
子どもに興味関心のあるところを取り上げる。

できなかったことができるようになった喜び、学習の支えになるような自信をつけさせたい。

<家庭学習について>

6年：「家庭学習の仕方」(6年版)を作り、連絡ノートの裏表紙にはる。日々、取り組みをチェックする。

「自学のすすめ」を作り、自学ノートに張る。よい取り組みを紹介する。

○ 教育長：家庭学習に結びつけるために、本時、どのような工夫をしたか。

<その他・要望など>

石橋教諭：大栄中のスクールカウンセラーの小林先生が月に1度小学校にもこられ、相談を受けてもらっている。大栄中に進学しても同じカウンセラーの先生がおられることは、保護者の安心感につながる。ぜひ、来年度も引き続き

小林先生にお願いしたい。

- 絹見教諭：ICT 支援員を来年もぜひお願いしたい。
- 教育長：ITC 補佐員は、今年で切れてしまう。来年どのことは、まだわからない。

<長田指導主事の話>

- 研究推進便りで確認されたことを共通実践しよう。
 - ・大きな声で発表する
 - ・理由をつけて発表する
 - ・相手意識を持って発表する
- 「学びあい・高めあいのある授業」に向けて
 - ・めあてをきちんと提示する。黒板に残す。
 - ・めあてを達成するために ICT や本物、デジタルコンテンツなどいろいろなものの活用が考えられるが、何が一番適しているか吟味する必要がある。
- 子どもの学びあいになるために
子どもの発言を以下につないでいくか。

<教育長の話>

- 学力のとらえ方
- 全校で共通理解したことは、必ずする。
チャレンジタイムに担任がいないのは言語道断。
- 自分たちのやっていることは自信を持ってやってほしい。
伸びたのは、うまくいかなかったのは、「こういうことを、こうしたからだ。」と裏付けよう。

後期 計画訪問 記録

訪問先	北条小学校	日時	平成23年11月21日(月) 8:55~13:00
訪問者 (9)	吉田委員長、斉尾委員、磯江委員、岩垣教育長、 中部教育局 中田指導係長、知久馬指導主事 田中課長、桑本指導主事、岩田		
校長	<p><本年度の学校経営>取り組みの成果・経過など (別紙)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国語・道徳を核にすえて研修、言語活動の充実、主体的な家庭学習 2 交流活動、保護者啓発 3 ノーメディアチャレンジ週間、支持的風土の学級作り 		
質疑	<ul style="list-style-type: none"> ○ 吉田委員長:『ノーメディアチャレンジ』について。テレビや携帯電話のない生活は考えられなくなっている。それを認めた上でどう付き合っていくかが大事だ。 ○ 斉尾委員:メディアの情報を、判断する力をつけたい。 ○ 教育長:親と話し合う機会を作ることが大切。 ○ 北村校長:地域の方の協力が、ありがたい。一部保護者の中に「ありがとうございます」が言えない人がいるが、多くは協力的である。いろいろな人との出会いを作っていきたい。今度、大栄小学校3年と本校3年との交流も行う予定である。 ○ 教育長:横のつながりが出てくるとよい。たて・横のつながりができてくことは望ましい。小・中・高連携について見直しを図っているところだが、よいところは続けたい。 ○ 吉田委員長:中央から共通の講師を招聘し、横のつながりを持った実践になるとよい。 ○ 北村校長:授業研究を1年に1回きちんとした形で行うことを大切にしている。ベテランの教員は、経験知で進めてしまいがちである。新学習指導要領の趣旨に沿った授業作りのためにも授業研究会を大事にしたい。 ○ 教育長:先日、『愚者は、経験から学び、賢者は、歴史から学ぶ』という言葉を聞いた。 ○ 北村校長:見分を高めるためにも、教師は、アンテナを高く上げておくことが大切。「今、何を身につけさせなければならないか」先を見て考える。不易流行も大切だが、プラスαを。グローバル+地域に根ざす ○ 吉田委員長:地域を知ることが大切。 ○ 斉尾委員:地域に出て実情を捉え、発信してほしい。 ○ 北村校長:50代の教員が、次の世代に伝えていくことが大事。 ○ 吉田委員長:国語・道徳の授業を核にして取り組むのはよい。授業が生活にどのような生きるか。 ○ 磯江委員:普段の生活の中でその場を捉えて指導できる教員であってほしい。 		

	<p>○ 教育長：ゲストティーチャーにとっても学習の場になり、子どもにとっても生き方を考える場になっている。</p>
岡 教務 主任	<p>別紙のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新しい学習指導要領の全面实施 2 学校評価の位置づけと有効活用 3 家庭連絡票の改訂 4 学校経営要項（特に研究計画）の完全実施と評価 5 研究推進の進捗状況
研究 主任	<p>別紙のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Q・Uの活用状況について 2 国語の研究 音読会、ペア学習、話す・聞く
質 疑 ・ 懇 談	<p>○ 吉田委員長：知・徳・体のバランスとは？</p> <p>○ 岡教諭：教育課程をきちんとやり遂げる。 道徳の年間 35 時間を確実に行う。</p> <p>○ 吉田委員長：国語と道徳。実施した後のチェックはどうしているか。</p> <p>○ 北村校長：音読会についての感想を「1日のくらし」に書かせる→集めて読む→次に生かす。</p> <p>○ 中田係長：校長教育方針の8つの項目とは？</p> <p>○ 桑本指導主事：道徳の資料について、次の学年で同じものをしてしまうことはあるか。</p> <p>○ 岡教諭：小学校では、ない。</p> <p>○ 斉尾委員：道徳には教科書があるか</p> <p>○ 北村校長：副読本がある。基本的には、「文溪」だが、他社のものを使うこともある。</p> <p>○ 桑本指導主事：相沢先生の言われる「かしこい声」を共通実践しているか。</p> <p>○ 岡教諭：「力のある、歯切れのよい声」相沢先生の師範授業を通して共通のイメージを持ち、それを目指して取り組んでいる。</p> <p>○ 教育長：具体的にどういう声なのか定義をきちんとしておくことが、共通実践に向けて大切である。</p> <p>○ 教育長：Q・Uは学級で生きているか。</p> <p>○ 岡教諭：琴浦町の浅田指導主事に、結果をどのように生かすか、丁寧に指導いただいた。2学期どう変わったかまとめて来年度に生かしたい。</p> <p>○ 磯江委員：その後どう変わったか、具体的に知らせてほしい。</p> <p><中部教育局 中田指導係長より></p> <p>○ 校内の環境が整っている。 学習に関する掲示。ほっとするような工夫。子どもの作品。整理整頓された学び</p>

やすい環境。

- 子どもたちは、落ちついて学習に取り組んでいた。
- ITC をうまく取り入れている。
- 話し方。聞き方のマナーが身についていた。
- 本時のねらいに迫るためにどのような活動をさせるか。時間配分は？教師は、話しすぎではないか。
- 算数の少人数指導について。3 コースあったが、それぞれやり方が違っていた。そろえるべきところはそろえる。次の学年にあがったとき、子どもが困る。
- ノート指導…目当てが書かれていたのはよい。字の大きさや書き方など学年が小さいほど丁寧に指導していく必要がある。見やすい。自分の考えを書く。間違いを消さないなど。
- 国語…まず、話したいことがあることが大事。次に、話したいことをまとめる力を。
- 特別支援学級
「めあて」と「流れ」を掲示する。見通しを持つ手立てが必要。
自立活動をどう組むか。障害に応じて6つの内容から選ぶ。今日のひまわり学級の学習は、学級活動ではないか。

<教育長の話>

- 反省をし実践することは、共通理解・共通実践につながる。
- 組織力で進めていく。中核となる人間の育成。
- 学校の教育活動は、「北栄町教育ビジョン」と「校長のビジョン」に基づいて進める。
- 行事を見通しを持った取り組みにすることは大事。

後期 計画訪問 記録

訪問先	北条中学校	日時	平成23年11月21日(月) 13:20~16:40
訪問者 (8)	吉田委員長、斉尾委員、磯江委員、岩垣教育長、 中部教育局 中田指導係長、知久馬指導主事 桑本指導主事、岩田		
校長	<p><学校経営の状況説明></p> <p>* 全職員が全盛とを見守り育てる 別紙資料+家庭学習アンケート+学校評価アンケート</p>		
質疑	<p>○ 磯江委員：「子どもの意欲を引き出すような言葉かけ」については、共通認識を持って進めているか</p> <p>○ 磯江校長：1学期の反省の上に立って2学期取り組んでいる。</p>		
教務 研究 人権	<p>○ H24 新教育課程に向けて 別紙 P.1</p> <p>○ 研究推進について 別紙 P.2</p> <p>○ 人権教育 別紙 P.3.4</p>		
質疑	<p>○ 教育長：ノートは、板書を写しているが、自分の考えを書くものにしたい。</p>		
全 職 員 と の 懇 談 会	<p><学力向上の現状と課題および課題解決のための具体的取り組み></p> <p>各教科の取り組み…別紙 P.5~7</p> <p>○ 斉尾委員：各学年ではどのような取り組みをしているか</p> <p>○ 3年：進路に向けて放課後学習を実施。わからないところを解決する。</p> <p>○ 2年：学習規律も身につき、意欲も高くなってきた。6つの指標を大事に授業作りをしている。</p> <p>○ 1年：人間関係ができていない。人の気持ちがわかるような人間関係を築くことが学習にもつながっていくと考え取り組んでいる。</p> <p>○ 教育長：小学校から引き継いでいるか</p> <p>○ 吉田委員長：3年生は、雰囲気明るくてよいが、どう生かし伸ばしていくか。</p> <p>○ 3年：男女の仲もよく、言い合える、教えあえる雰囲気がある。</p> <p>○ 桑本指導主事：「生徒自身が気づくような言葉かけ」「テンポのよい授業」を心がけているということだが、生徒たちの力がうまく引き出されている。</p> <p>○ 教育長：6つの指標の、1~4までは工夫が見られるが、5・6はどうか？教師は、しゃべりすぎていないか。生徒同士の関わりあいを持たせているか。</p> <p>○ 新教諭：英語では、グループで疑問点を出し合う活動を入れている。教師は、それに答え解決するようにしている。グループ活動ができるように、学活や道徳を通して仲間作りをしている。</p> <p>○ 斉尾委員：自学の時間の進め方、子どもたちの育ちは？</p> <p>○ 磯江校長：理想は自分たちで進めていけることだが、学年に応じた課題を示している。1学期は、宿題を進める時間だったが、2学期は、学年に応じたもの。</p>		

- 3年：受験参考書を進める。
- 2年：基本的な内容。新聞の「潮海音」を試写する。
- 1年：当初は、まず机に向かうことから。
後期は、1週間同じ教科の基礎基本の問題をする。(火・水・木・金)月は、チェック。

<要望>

- 教師用のPCを新しくしてほしい。
- ブルーレイのレコーダーとプレーヤーが必要。生徒に還元できる。

<知久馬指導主事より>

- 生徒が落ち着いて学習に取り組んでいる。
- 自学の時間をよりよいものに、と取り組んでいる。
- 支援センターに通っている生徒への支援が素晴らしい。
- 学校評価アンケートについて
全体だけでなく、学年ごとの追跡分析を。
- 指導案について
 - ・ねらいと評価が対応しているものとしていないものがある。
 - ・評価方法を書く。観点は、1つ。
 - ・ねらいが板書してあったが、タイトルだった。この時間に何ができるようになればいいのか生徒に伝わるようなものを。
 - ・個人差がある。どの子も伸ばしたい。
手立てをするためにも、学習の核になるところで、ペア学習やグループ学習をいれていきたい。

<教育長の話>

- 「全職員で全生徒を」よく見てもらっている。
- 組織の一員ということを自覚する
- 具体的な取り組みをより具体的にしていくこと。

後期 計画訪問 記録

訪問先	大栄中学校	日時	平成23年11月28日(金) 13:20~16:40
訪問者 (8)	吉田委員長、磯江委員、岩垣教育長、 中部教育局 牧田指導主事、井上指導主事 田中課長、桑本指導主事、岩田		
校長	<p><本年度の学校経営>取り組みの成果・経過など (別紙 P2~15)</p> <p>学力と社会性</p> <p>1 学力向上・授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P.9 教育反省の 8~19 ・ 小テスト、班での話し合い、学びあい ・ 高校の先生による英語、国語の授業→学びの質、学び方 ・ NIE 新聞を教育に スクラップを作る取り組み、教科でも、7誌の読み比べ ・ キャリア教育 <p>2 仲間作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科の中で、道徳・特別活動・総合の中で意識して P.9 教育反省の 20~34、36、37、38、41 ・ 行事(運動会、文化祭)を通して、仲間作り、人間関係作り、人権感覚を育てる ・ 行事の後に、他学年の生徒にメッセージを届けたり、全校集会で「ありがとう」を伝えたりする。 ・ QU の活用 ・ 課題は、生徒会活動をもっと自主的なものにする事。 		
石亀 教務 主任	<p>1 教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時数の確保に努める ・ 1学期学活が総合は、2学期に多くなるが、調整をしている。 <p>2 来年度へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会以外は、先取りをしている。 		
吉田 研究 主任	<p>研究推進について…別紙 P.16~17</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飯島先生との懇談から ○ 今後の取り組み ○ 授業改善のためのセルフチェック 		
質 疑	<p>○吉田委員長：アンケートを基に考えるのはよいが、個々の子どもへの手立ても明確にしていくことが大事。(例)「大栄中が好きだ」について C・D の子どもが 21 人いる。この子達への手立てをどうするか。</p> <p>○鳥山校長：個々の子どもへの手立てと仲間作りを大切にしている取り組みの両方を大事に考えている。</p>		

<p>人権 教育 校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりを大切にしながら進める授業 ○ 行事の後の「ありがとう」集会 ○ 文化祭の人権劇…1年生は、障がい者問題、3年生は、部落問題 ○ 人権作文コンクールへの取り組み…学級・学年弁論、文化祭での発表 ○ 人権教育参観日 ○ 学習会の取り組み…文化祭での発表、解放文化祭での発表 ○ 情報モラル講演会
<p>萬 生徒 指導 主事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 週に1回生徒指導委員会を開催。(スクールカウンセラー小林先生の来校日) ○ QUの結果を学級作りや教育相談活動に生かしている。 ○ 今後の課題…安全な登下校
<p>質 疑</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○吉田委員長：挨拶がよい(こちらからすると返ってくる)挨拶は、まず、大人からすることが大切。小地域懇談会でもお願いしている。 ○教育長：QUを「集団のとらえ方」「個々のとらえ方」両方に生かしてほしい。 ○鳥山校長：個々の生徒についてとらえ、声かけをしていく。 ○磯江委員：「ありがとう」カードに関して。普段「ありがとう」の言葉が増えてきているか。 ○萬 教諭：生徒たちの仲でも、少し増えている。教師が言うように心がけている。 ○磯江委員：大人から「ありがとう」の言葉かけをしていきたい。 ○鳥山校長：全校集会でも「ありがとう」を声に出していう機会を設けている。 ○教育長：教師同士はどうか？かけ合える教師集団だといいい。 ○岩田：新聞記事に関して自分が考えたことを書いたものが掲示されているが。生徒同士が意見交流をする場面があるか。 ○萬 教諭：今は、国語科で取り組んでいる。今後、朝のスピーチに取り入れたいと考えている。 ○岩田：交流することで、記事に対する自分の考えを広げたり深めたりすることにつながると思う。 ○教育長：来年度からの教育課程・年計の準備はどうか。4月すぐにスタートできるようにしてほしい。また、計画している時数ができたか+どれだけ子どもに力がついたかの両面を見てほしい。

全職員との懇談会

<学力向上の現状と課題および課題解決のための具体的取り組み>

各教科の取り組み…別紙 P,14~15

- 国語：①基礎基本…音読。漢字 ②話す・聞く ③書く…自分の考えを持つところで
- 社会：基礎基本…小テスト
資料活用…NIE 新聞の切り抜き
個人評価のシートにまとめを文章で書く。
主体的に取り組むために、ワークシートを使って予習。
- 数学：授業をパターン化し、見通しが持てるように。
基礎となる計算力を→ワークやノートの点検。小テスト。やりきらせる。
朝学習など個別の対応も。
- 理科：小テストの実施。実験観察を取り入れ、主体的な学習に。
- 英語：ペアワークやグループ活動を取り入れる。
- 磯江委員：静かに落ち着いて学習が進められている。「小テスト」は学習のはじめにするか。再テストはするか。
- 国語：3年生は、毎週始めに漢字テストを行い、間違えた問題は、練習する。
- 数学：単元終わりに「確認テスト」をする。似たような問題を繰り返しし、できていない子どもは、朝学習で補充する。
- 英語：単語テストをしている。
- 教育長：数学は、H22年度 2年生46からH23年度に47.1にあがっているが、どのような手立てがあったか。
- 萬 教諭：気楽に質問できる環境、やりきらせる、問題データベースの活用などが考えられる。
- 田中教諭：国語では、書くことを大切にした。
1年では、「コラム」を写す、2年では、「コラム」を写すか記事を読んで感想を書く、3年では、記事を選び内容の説明+感想を書く。
- 吉田委員長：新聞を取り入れて変わってきたことは？
- 国語：選ぶ記事が変わってきた。以前は、スポーツと芸能が多かったが時事問題なども選ぶようになった。
- 社会：中間テストなどに「記事を選んで感想を書く」課題を入れたが、1学期は、震災のことばかりだったのが、2学期は、いろいろなものを選ぶようになった。
- 吉田委員長：学級の中での話題に影響は見られるか。
- 鳥山校長：今は、環境を整えて、読む雰囲気を作るようにしている。今後成果が現れるものと思う。
- 教育長：渡り廊下に、生徒はよく集まっているか。
- 石亀教諭：特定の子どもだが、2年生がよく座って読んでいる。
- 萬教諭：図書館の近くであればいいが。

<要望>

- デジタル教科書があるとよい。その前段として、映し出すものが必要。
- 部活動の団体のユニフォームが古くなっている。(野球、バスケ、バレー)
- 玄関前が暗い。明かりをつけてほしい。
- 教育長：ユニフォームについて、校内でのルールを。部活の振興費を集めているが…。
- パソコンソフトの更新をお願いしたい。

<井上指導主事より>

- 研究推進について…課題意識を持って取り組んでいる。
「ねらいの板書」「かかわりあう場面を仕組む」…共通実践されている。が、ねらいを評価に活用することを考えてほしい。
- 基礎基本と思考（思いを伝え合う場面）
かかわりあう場面と詰め込む場面のバランスを。
- 学力向上について
全員で、数値を明らかにした話し合いができています
①授業改善…共通実践がある
②家庭学習の習慣化の取り組みがある。
③基礎基本を身に着けるためのシステムがある。
④モデルとなる授業力のある先生がいる。
⑤数値目標がある。

<牧田指導主事より>

- ① どの教科にも言語活動が取り入れられている。
言語環境の整備（新聞、掲示物、板書など）についても考えてほしい。
- ② QU が活用されている。
データだけでなく観察を大事にする。多数の教員で話し合い、支援を考える。
- ③ 教室に無駄な音がない。シャープペンシルを回す生徒がいない。集中して授業に取り組んでいる。

<鳥山校長より>

今後も成果が上がっているか検証していきたい。
基礎基本を身に着けることは大事だが、反復だけでいいのか、教科の面白さ本質的な楽しさに触れられるようにしたい。

<教育長より>

- 環境が整えられている。学期の反省を次に生かす、セルフチェックをするなど、よい取り組みだ。
- 来年度への準備をお願いしたい。
- 小・中・高の連携を。育ちがつながっていくように。

H23 事業仕分け 記入シート

(平成 23 年 11 月 8 日実施)

事業名等	結果	仕分け	コメント
1 健康づくり人材育成事業 (健康サポーター養成事業)	1	①不要	改…健康推進員等の役割・分担を明確にし、住民と協働健康活動を自主的に進める仕組みづくりを行うこと
		②民間等	改…健康サポーターを HP 上に掲載するなど積極的に PR し、町民から声をかけられる仕組みを。
		③国・県	改…健康推進員の業務の見直し。推進員を終了された方の活動の場とすることで地域偏在を解消していく。
	5	④町継続 (改善)	改…サポーターと健康推進員とが協力して成長のある活動へと工夫をしていくこと。
		⑤町継続 (現行)	不…健康推進員の仕事の拡充でも同主旨の活動事業が出来ると思う。
2 再生資源収集委託事業		①不要	改…販売者への返還ルート確保、町民への啓蒙活動の実施。情報発信に工夫を。
		②民間等	改…町民への啓発、販売者へ回収の協力を求め、町が処理すべき総量を減らす取り組みを検討すべき
		③国・県	改…再資源化が可能となるよう分別品目を増やすこと。
	5	④町継続 (改善)	改…再生資源収集委託料が適正であるか否かの再検討が必要である。
	1	⑤町継続 (現行)	現…事業の方向性は良い。事業の現行もしくは拡充。
3 婚活支援事業	2+1	①不要	不…県・他市町との事業の重複
	1	②民間等	不…中部、県全体でとらえ、出会いの数を増やしてはどうか
	2	③国・県	不…仲人制度を拡充するなど事業の方法を検討すべき
	1	④町継続 (改善)	県…少子化は共通の課題。スクールリットを活かした県事業に乗り、その上で北栄町へ効果が及ぶ方法を探る。
		⑤町継続 (現行)	民…町独自の活動には限界がある。専門的な民間団体や中部広域連合などに業務委託を考えるべき。仲人
4 図書館運営事業 (北条分室)	5	①不要	不…学校図書室など施設の複合的な利用を可能にし、近くて利用できる方法の検討
		②民間等	不…分室機能はなくし、限られた資源を本館に集約し図書館機能の充実を図るべき。
		③国・県	不…近くにあるのに越したことはないが、利用人数も限定されている。本館の充実を考えるべき。
	1	④町継続 (改善)	不…北条分室がなくても利用している方に不便をかけない程度のサービスはできるのはではないか。
		⑤町継続 (現行)	改…文化施設は近い場所にあるべき。学校図書館の充実により一般の方にも借出可能なシステムの構築を

事業名等	結果	仕分け	コメント
5 由良川イカダレース実行委員会補助金事業	1	①不要	改…大会目的の明確化、運営主体・運営方法の見直し。
		②民間等	改…報償費はカット。逆に参加料を求める、企業の協賛金を検討するなどにより補助額を抑えていく。
		③国・県	改…子ども会、生徒会への働きかけは十分でない。
	5	④町継続 (改善)	改…もっと民間を巻き込んで実行委員を選び継続性を持たせる。
		⑤町継続 (現行)	不…多種多様なイベントが多すぎる。スポーツイベントの整理が必要。町民全体が必要とするイベントを。
6 民芸実習館事業	1	①不要	改…伝統芸能の「継承」とうたっているのであれば、もっと広く門戸を開くべきである。
		②民間等	改…稼働率20%の現状は問題視すべき。PRも不足し過ぎと考える。
		③国・県	改…文化事業全般に対する参画誘導や啓蒙が足りていない。
	5	④町継続 (改善)	改…町民へ施設の利用の呼びかけが必要。利用料の徴収も検討すべき。
		⑤町継続 (現行)	不…現状の利用形態(特定の方だけの利用)であれば町が維持管理する必要はない。
7 北条砂丘公園センター管理事業	1	①不要	改…北栄町の情報の発信ができていない。イメージダウンになっている。
		②民間等	改…希望の館の使用方法を多面的に考え、もっと町民に周知し利用を促進してはどうか。
		③国・県	改…特定の愛好者の利用のみという現状であるなら町有財産の持ち腐れである。利用者増の方策の検討。
	5	④町継続 (改善)	改…店舗使用料、その他の使用料も再考を。維持管理費をまかなえる使用料に変えていく。
		⑤町継続 (現行)	民…山陰道開通による影響も見据えながら民力を活用した『駅』とすべき。
8 広報事業		①不要	改…町民アンケートの実施、広報モニター制度の導入等を検討したうえで、町報のあり方を再考すべき。
		②民間等	改…紙面の改善、掲載記事の内容・量について検討をされたい。(広報紙のスリム化・シンプル化の検討)
		③国・県	改…朝の放送、CATV、インターネット等の広報媒体を考えると町報をもう少しコンパクトにすべき。
	6	④町継続 (改善)	改…他市町村と比較して1ページ単価が高い。コストダウンを検討する必要がある。
		⑤町継続 (現行)	改…情報発信の強化が必要。ホームページの工夫と充実を図ってほしい。

教育長	主管 課長	室長	主幹	副主幹	回	議	主査

H23 事業仕分け結果に対する検討結果

1 事業名 図書館運営事業 (事業番号4)

町継続 (改善) 内訳: 不要4人、町継続 (改善) 1人

3 仕分け意見

- ① 分室機能をなくし、限られた資源を本館に集約し図書館機能の充実を図る。
- ② 学校図書館等施設の複合的な利用を可能にし、近くで利用できる方法の検討。
- ③ 北条分室を利用している方に不便をかけないサービスの提供。

4 検討結果

- ① 分室機能をなくし、限られた資源を本館に集約し図書館機能の充実を図る。

(結果) 北条分室は、平成19年度事業仕分けで廃止検討を行う事となっていた。(理由は、検索等が可能な情報ネットワークの整備、移動図書館車、巡回文庫の充実を図り廃止する検討を行う。)

その後、平成20年度から移動図書館車の廃止が検討される中で、「図書館分室は存続し公民館と併せて住民利用の便を図る。」と見直し案が出されている。実績として、図書館システム、移動図書館車の廃止により年々利用者数、貸出冊数が増加している。併せて、中央公民館の中に設置し、近隣に幼・小・中学校、福祉施設等が集積している事から地域の図書館、生涯学習の拠点の一つとして確立されている。以上により、分室機能を廃止する事は、地域住民への生涯学習の場を損なう事となり廃止は時期尚早と考えられる。

- ② 学校図書館等施設の複合的な利用を可能にし、近くで利用できる方法の検討。

(結果) 学校図書は、設置目的が主に学校の調べや学習教育に関する図書を収集する事となっており、公共図書館のような幼児から高齢者までの幅広い年齢層に適合するものではない。複合的に整備する場合、学校図書室の拡充整備が必要でありまた、利用時間、セキュリティ等の問題

も

があり、学校図書室と公共図書館である北条分室は区別して運営すべきと考えられる。

③ 北条分室を利用している方に不便をかけないサービスの提供。

(結果) 上記理由により、不便をかけないサービスは存続が適当と考える。

H23 事業仕分け結果に対する検討結果

- 1 事業名 由良川イカダレース実行委員会補助金事業 (事業番号5)
- 2 仕分け結果
町継続 (改善) 内訳：不要1人、町継続 (改善) 5人
- 3 仕分け意見
 - ① 大会目的の明確化、運営主体・運営方法の見直し
 - ② 報償費はカットし参加料を求める。企業の協賛金を検討し補助額を抑える
 - ③ 子ども会・生徒会へ働きかけ、民間を巻き込んだ実行委員会にする
- 4 検討結果
 - ① 大会目的の明確化、運営主体・運営方法の見直し
(結果)
事業仕分けでは「町継続 (改善)」の結果であったが、今後の大会開催については、町、実行委員会、参加者意見を踏まえ事業の継続を検討したい。検討結果として事業継続となれば、仕分け意見を十分に取り入れ、事業が地域に根ざし、将来にわたり継続可能な事業として見直しを行う。
 - ② 報償費はカットし、参加料を求める。企業の協賛金を検討し補助額を抑える
(結果)
上記「①」の結果により検討を行う。
 - ③ 子ども会・生徒会へ働きかけ、民間を巻き込んだ実行委員会にする
(結果)
上記「①」の結果により検討を行う。

H23 事業仕分け結果に対する検討結果

1 事業名 民芸実習館事業 (事業番号6)

2 仕分け結果

町継続 (改善) 内訳: 不要1人、町継続 (改善) 5人

3 仕分け意見

- ①伝統芸能の「継承」であるなら、もっと広く門戸を開くべき
- ②稼働率20%の現状は問題視すべき。町民へのPRが必要
- ③利用料の徴収も検討すべき

4 検討結果

- ① 伝統芸能の「継承」であるなら、もっと広く門戸を開くべき。

(結果)

民芸実習館が陶芸、油絵、水墨画、木工、竹工に特化した施設であり、その特徴を活かし、利用団体と連携を図りながら講習会を開催するなど、文化芸術の裾野を広げるべく広く町民に呼び掛ける。

- ② 働率20%の現状は問題視すべき。町民へのPRが必要。

(結果)

広報誌・町ホームページ等の媒体を活用しながら施設PRを行う。また、北栄町文化団体連絡協議会内での利活用の検討、上記講習会の開催等で活用して行く。

- ③ 用料の徴収も検討すべき。

(結果)

民芸実習館の利用料については、社会教育の一環で使用する場合中央公民館条例の使用料規定を運用する。

講習会により施設・備品等を利用する場合は、原材料費、陶芸の燃料費等の実費は個人負担とする。

少人数学級編制

(人)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国標準	35	40	40	40	40	40	40	40	40
県基準	30	30	35	35	35	35	33	35	35
	単県費	単県費	半額	半額	半額	半額	単県費	半額	半額
町基準	/	/	33	33	33	33	/	/	/
			全額	全額	全額	全額			

平成23年11月22日現在

クラス数の○数字…少人数学級編制

平成24年度

学校名	北条小学校						北条中学校		
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
児童生徒数	60	71	70	61	67	65	67	78	59
支援学級人数	2	2	6	1	3	4	1	1	2
クラス数	2	③	③	2	③	2	③	③	2
各人数	30	24	24	31	23	33	23	26	30
	30	24	23	30	22	32	22	26	29
		23	23		22		22	26	
国標準	○			○		○			○
県基準	/	単県費	/	/	/	/	単県費	200	/
協力金									
町基準	/	/	500	/	500	/	/	/	/
協力金			全額		全額				

大栄小学校						大栄中学校		
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
57	75	69	61	81	73	72	58	55
5	2	3	1	1	1	3	2	2
2	③	③	2	3	③	③	2	2
29	25	23	31	27	25	24	29	28
28	25	23	30	27	24	24	29	27
	25	23		27	24	24		
○			○	○			○	○
/	単県費	/	/	/	/	200	/	/
/	/	500	/	/	/	/	/	/
		全額						

協力金

400

1500

協力金合計 1900

※ 指導法工夫改善加配の研究指定校方式は含まず